FUJIFILM

BL00777-100(1) J

DIGITAL CAMERA

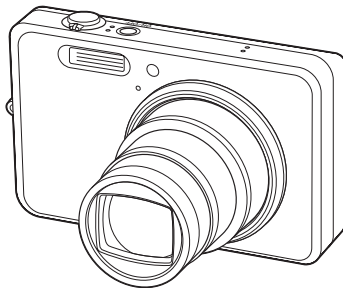
FINEPIX J100
FINEPIX J120
FINEPIX J110w
FINEPIX J150w

使用説明書／ソフトウェア取扱ガイド

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この説明書には、フジフイルムデジタルカメラ ファインピックス J100/J110w/J120/J150w、および付属のソフトウェアの使い方がまとめられています。

内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本製品はファインピックス J150w です。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。

http://fujifilm.jp/

Exif Print　SDHC　PictBridge　CERTIFIED FOR Windows Vista

はじめに

カメラをお使いになる前に

次の手順にしたがって
準備してください

1

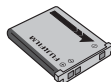
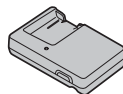
箱の中の付属品が
すべてそろっているかを
確認してください（右記）。

2

カメラを安全に使用されるために、
「お取り扱いにご注意ください」
（→ 85 ページ）をお読みください。

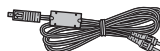
3

本書をよくお読みの上、
カメラをお使いください。

■ 付属品一覧

充電式バッテリー
NP-45（1 個）

バッテリーチャージャー
BC-45A（1 式）

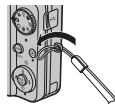
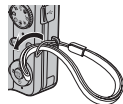
ストラップ（1 本）

専用 USB
ケーブル（1 本）

Software for FinePix CD-ROM（1 枚）
**ご使用の前にソフトウェア許諾書を
必ずお読みください（→ 87 ページ）。**

専用 A/V（音声／映像）
ケーブル（1 本）

• 使用説明書（本書 1 部）
• 保証書（1 部）

ストラップの取り付け方
右のようにしてストラップを
取り付けてください。

❶ ❷

本書について

この使用説明書の以下のページを開くと、お探しの情報が簡単に見つかるようになっています。

➡ こんな時に使いたい機能一覧 → P.5

カメラを使ってやりたいことがあっても、どの機能を使えばいいか分からないときにご覧ください。

➡ 目次 → P.7

カメラの主な機能が使用説明書のどこに記載されているかを知りたいときにご覧ください。目次を見ると、使用説明書全体の流れがつかめます。

➡ 索引 → P.108

用語や項目名をもとに、詳しい説明の記載ページを探せます。索引は五十音順になっています。

➡ トラブルシューティング /FAQ → P.90

カメラの動作がおかしいとき、思い通りの写真が撮れないときなどの原因と対処法を紹介しています。

➡ 警告表示 → P.97

モニターに表示される警告の意味と原因を紹介しています。

➡ 用語集 → P.101

カメラに関する専門用語を解説しています。

使用可能なメモリーカードについて

このカメラでは、市販の SD メモリーカード、または SDHC メモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します。

本書で使われている記号について

- **注意**：カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
- **チェック**：実際に操作するときに確認していただきたいことを記載しています。
- **メモ**：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

液晶モニターのイラストについて

本書では、液晶画面の表示を簡略化して記載しています。

製品名の記載について

- 本書は、FinePix J100、FinePix J110w、FinePix J120、FinePix J150w の 4 機種の取り扱いについて説明しています。
- FinePix J100、FinePix J110w、FinePix J120、FinePix J150w の仕様は下記のように異なりますが、画面表示や操作は各機種共通です。

カメラ名	液晶モニターのサイズ	レンズ仕様
FinePix J100	2.7 型	5 倍ズームレンズ 焦点距離：35 ～ 175mm (35mm フィルム換算)
FinePix J110w	2.7 型	5 倍ズームレンズ 焦点距離：28 ～ 140mm (35mm フィルム換算)
FinePix J120	3.0 型	5 倍ズームレンズ 焦点距離：35 ～ 175mm (35mm フィルム換算)
FinePix J150w	3.0 型	5 倍ズームレンズ 焦点距離：28 ～ 140mm (35mm フィルム換算)

- 本書のイラストや液晶モニターの画面表示は、FinePix J150w のものを使用しています。ただし、機種固有の説明には該当する機種の名称を記載します。

こんな時に使いたい機能一覧

したいことや知りたいことから、使える機能の説明が記載されているページを探せます。

カメラの設定、操作について

撮影について

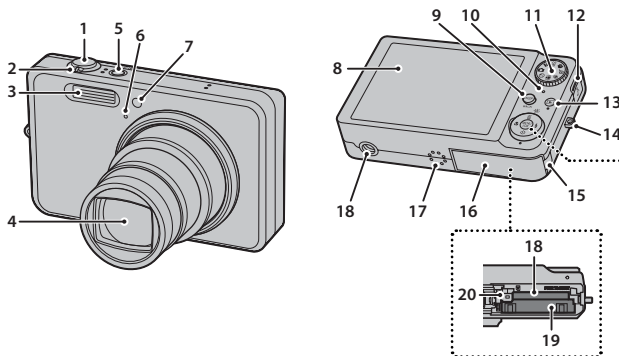
こんなことがしたい、知りたい	キーワード	ページ
人物の顔をきれいに撮りたい。	顔キレイナビで撮影する	P.26
状況に合ったモードを選んで撮影したい。	モードを切り替えて撮影する	P.35
被写体に近づいて撮影（近距離撮影）したい。	近距離撮影（マクロ）する	P.30
暗い場所でもフラッシュを使わずに撮影したい。	フラッシュ撮影する	P.31
人物の赤目現象が起きないように撮影したい。		
明るい場所でも、フラッシュを必ず光らせたい。		
集合写真に自分も写りたい。	セルフタイマーを使って撮影する	P.33
画面の中央にいない被写体にピントを合わせたい。	AF/AE ロック撮影する	P.28
動画を撮影したい。	動画を撮影する	P.46

再生について

こんなことがしたい、知りたい	キーワード	ページ
撮影した画像をすぐ確認したい。	撮影した画像を見る	P.25
不要な画像を消去したい。	不要な画像を消去する	P.25
不要な画像だけをまとめて消去したい。	画像を選んで消去する	P.44
画像を拡大して見たい。	再生ズーム	P.41
複数の画像を一度に見たい。	マルチ再生する	P.42
特定の日に撮影した画像だけ見たい。	日付再生する	P.43
大事な画像を間違えて消去しないように保護したい。	プロテクト	P.73
液晶モニターにアイコンが表示されないようにしたい。	DISP/BACK ボタン	P.40
画像をテレビで見たい。	画像をテレビで見る	P.49

目次

各部の名称

使い方や説明については、各項目の右側に記載されているページをご覧ください。

上に移動
☼（画面明るさアップ）ボタン（以下参照）
🗑（消去）ボタン（→ P.25）

MENU（メニュー）/ **OK** ボタン（→ P.20）

左に移動
（マクロ）ボタン（→ P.30）

右に移動
⚡（フラッシュ）ボタン（→ P.31）

下に移動
（セルフタイマー）ボタン（→ P.33）

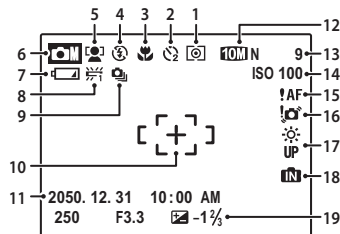
1 シャッターボタン P.23
2 ズームレバー .... P.22、41
3 フラッシュ................................. P.31
4 レンズ / レンズカバー
5 **ON/OFF**（電源）ボタン P.19
6 マイク...P.47
7 セルフタイマーランプ P.33
8 液晶モニター（LCD)..................P.11
9 **DISP**（表示）/**BACK**（戻る）ボタン ....P.23、40
10 インジケーターランプ P.24
11 モードダイヤル ....P.12、35
12 USB 端子 ....P.50、58
AV/OUT（音声 / 映像出力）端子 P.49
13 ▶（再生）ボタン......................P.40
14 ストラップ取り付け部 P.2
15 DC カプラー用ケーブルカバー P.84
16 バッテリーカバー P.15
17 スピーカー..................................P.48
18 三脚用ねじ穴
19 メモリーカードスロット P.16
20 バッテリー挿入部.......................P.15
21 バッテリー取り外しつまみ..........P.15

メモ : 画面明るさアップ

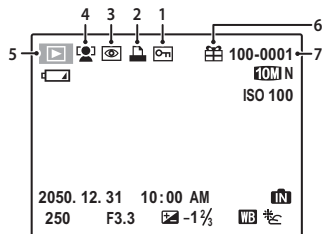
撮影時に ☼（画面明るさアップ）ボタンを押すと、屋外などの明るい場所で液晶モニターを確認しにくいときに、液晶モニターを一時的に明るくできます。撮影すると、明るさアップは自動的に解除されます。

液晶モニターの表示

撮影時および再生時には、モニターに次の情報が表示されます。

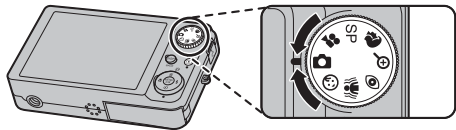
■ 静止画撮影時

1	測光……P.68	11	日付・時刻……P.20
2	セルフタイマー……P.33	12	ピクセル……P.66
3	マクロ（近距離）……P.30	13	撮影可能枚数……P.103
4	フラッシュ……P.31	14	感度……P.66
5	顔キレイナビ……P.26	15	AF 警告……P.23
6	撮影モード……P.35	16	手ブレ警告……P.32
7	バッテリー残量表示……P.21	17	画面明るさアップ……P.10
8	ホワイトバランス……P.68	18	内蔵メモリー *
9	連写……P.69	19	露出補正……P.67
10	AF フレーム……P.23		

* メモリーカードがカメラに入っていないため、撮影した画像がカメラの内蔵メモリーに記録されることを示します。

■ 再生時

1	プロテクト……P.73	5	再生モード……P.40
2	プリント予約……P.63	6	プレゼント……P.40
3	赤目補正……P.71	7	コマ NO.……P.79
4	顔キレイナビ……P.26		

はじめに

モードダイヤル

ダイヤルを回して指標に合わせるだけで、**オート**、**ベビー**、**ブレ軽減**、**赤目軽減**、**デジタルズーム**、**人物**、SP **シーンポジション**、**動画**から使いたい撮影モードをすばやく選択できます。

SP シーンポジション (P.37)
お好みのシーンポジションを選ぶだけで、撮影シーンに最適な設定で撮影できます。

動画 (P.46)
音声付きの Motion JPEG 形式の動画を撮影できます。

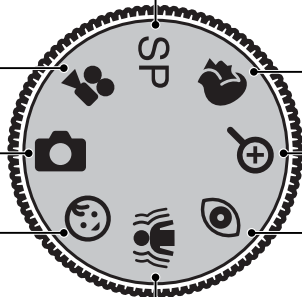
人物 (P.36)
肌の色が自然で、ソフトな印象のポートレート写真を撮影できます。

AUTO (オート)(P.21)
カメラまかせの簡単操作できれいな写真を撮影できます。

デジタルズーム (P.36)
3倍のデジタルズームが作動して、離れた場所にいる被写体を手早くアップで撮影できます。

ベビー (P.35)
赤ちゃんの肌を自然に撮影することができます。フラッシュは常に発光禁止になります。

ブレ軽減 (P.35)
シャッタースピードが速くなり、手ブレや被写体ブレを軽減できます。

赤目軽減 (P.36)
暗い場所でフラッシュを使用して人物を撮影するときに起きる「赤目現象」を軽減できます。

バッテリーを充電する

ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前に付属のバッテリーチャージャーBC-45Aでバッテリーを充電してください。

1 バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付けます。

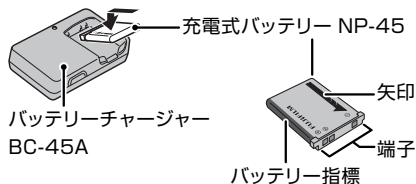
表示に従って正しくセットしてください。

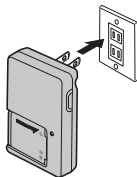
充電式バッテリー NP-45

矢印

端子

バッテリーチャージャー
BC-45A

バッテリー指標

2 電源プラグをコンセントに差し込みます。

充電ランプが橙色に点灯して充電を開始します。

充電ランプの表示

充電ランプの表示により、バッテリーの状態を確認できます。

充電ランプ	バッテリーの状態	対処
消灯	バッテリー未装着	充電するバッテリーを装着してください
	フル充電（充電終了）	バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください
橙色点灯	充電中	—
橙色点滅	バッテリー異常	電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください

3 充電が終了すると、充電ランプは消灯します。

バッテリーが空の場合、約100分で充電が完了します。

バッテリーについてのご注意

- 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」(→ 85 ページ) をご覧ください。
- 必ず専用の充電式バッテリー NP-45 をお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前（1 ～ 2 日前）には、バッテリーを充電してください。

バッテリーチャージャーについてのご注意

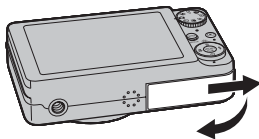
- バッテリーチャージャーを使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- 低温時は充電時間が長くなることがあります。

メモ : AC アダプターについて

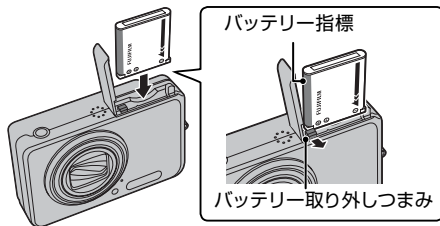
このカメラは、別売の AC パワーアダプター AC-5VX と DC カプラー CP-45 と組み合わせて電源を供給することもできます。使い方については、それぞれに付属の使用説明書を参照してください。

バッテリーを入れる

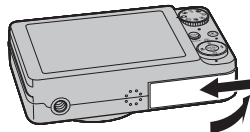
バッテリーを充電したら、カメラにバッテリーを入れます。

1 カメラの電源がオフになっていることを確認して、バッテリーカバーを開けます。

2 バッテリーを入れます。

- カメラのバッテリー取り外しつまみ（オレンジ色）にバッテリーのバッテリー指標（オレンジ色）を合わせます。

バッテリー指標

バッテリー取り外しつまみ

- バッテリー取り外しつまみをバッテリーで押すようにして、バッテリーを入れます。
- バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。

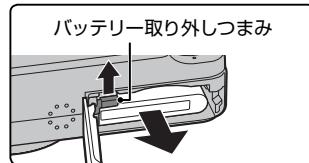
3 バッテリーカバーを閉めます。

バッテリー挿入時のご注意

- カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。
- バッテリーの向きを間違えると、カメラは動作しません。正しい向きで挿入してください。

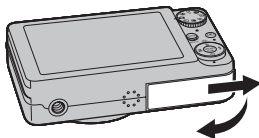
バッテリーを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。

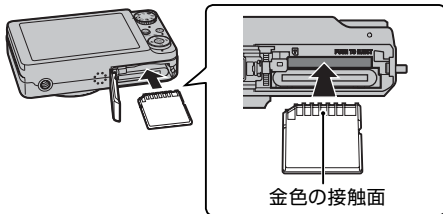
バッテリー取り外しつまみ

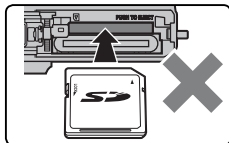
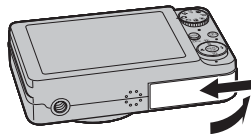
撮影の準備

メモリーカードを入れる

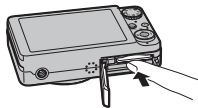
撮影した画像は、内蔵メモリーまたは市販の SD メモリーカード /SDHC メモリーカードのどちらかに記録されます。

1 カメラの電源がオフになっていることを確認して、バッテリーカバーを開けます。

2 メモリーカードを入れます。

図のように正しい向きで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。

金色の接触面

メモリーカード挿入時のご注意

メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。

3 バッテリーカバーを閉めます。

メモリーカードを取り出すときは

カードを指で押し込み、ゆっくり指を戻すと、ロックが外れて取り出せます。

注意

メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに放してください。

■ 使用可能なメモリーカード

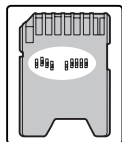
- このカメラでは、SanDisk 社製の SD/SDHC メモリーカードの使用をおすすめします（動作確認済み）。
- 今後の対応メモリーカードについては、富士フイルムのホームページに掲載しています。詳しくは http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/ をご覧ください。その他のメモリーカードについては、動作保証しておりません。また、xD- ピクチャーカード、マルチメディアカードには対応していません。

メモリーカードについてのご注意

- SD/SDHC メモリーカードをカメラに入れるときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。

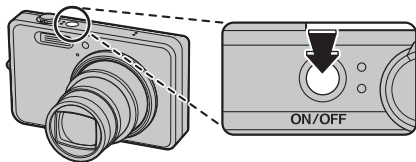
▼Lock
書き込み禁止スイッチ

- 未使用の SD/SDHC メモリーカードや、パソコンやその他の機器で使用した SD/SDHC メモリーカードは、必ずカメラでフォーマット (→ 81 ページ) してからご使用ください。
- miniSD アダプターや microSD アダプターの中には、アダプター裏面に金属端子が露出しているものがあります。このようなアダプターをお使いになると、異常接触となる恐れがあり、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
  また、外形寸法が SD メモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フイルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
- メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。

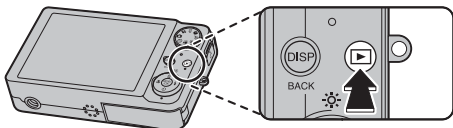
撮影の準備

- メモリーカードにラベルなどを貼らないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- SD メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- カメラを修理すると、内蔵メモリーのデータが消えたり、壊れたりすることがあります。また、修理技術者が、修理中に内蔵メモリーの画像を見ることがあります。
- カメラでメモリーカードや内蔵メモリーをフォーマットすると、画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、画像ファイルの削除や名前変更をしないでください。メモリーカードや内蔵メモリー内の画像の削除は、必ずカメラで行ってください。画像の編集や名前変更をするときは、カメラのオリジナル画像を使わないでください。パソコンなどに画像をコピーし、コピーした画像で編集や名前変更をしてください。
- SD メモリーカード、内蔵メモリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」（→ 85 ページ）をご覧ください。

電源をオンにする / オフにする

ON/OFF（電源）ボタンを押すと、電源がオンになります。もう一度押すと、電源がオフになります。

ON/OFF

再生モードで電源をオンにするには

▶（再生）ボタンを約 1 秒間押すと、再生モードで電源がオンになります。

DISP BACK

再生中に ▶(再生) ボタンを押すと電源がオフになります。

注意

- 撮影モードで電源を入れると、レンズカバーが開いてレンズが繰り出します。レンズ部を手で押さえていると、誤作動や故障の原因になります。
- レンズに指紋が付かないようにご注意ください。撮影画像の画質低下の原因になります。

メモ：自動電源 OFF

カメラを操作しない状態が約 10 秒間続くと、バッテリーの消耗を抑えるために液晶モニターが暗くなります。ボタンを操作すると、再び液晶モニターが明るくなります。さらに一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。セットアップメニューの**自動電源 OFF**（→81 ページ）では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。

使用する言語と日時を設定する

ご購入後初めて電源をオンにしたときは、使用する言語と日時が設定されていません。次の手順で使用する言語を選び、日時を設定します。

1 電源をオンにします。
言語設定画面が表示されます。

2 使用する言語を選択します。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。
言語が設定され、日時設定画面が表示されます。

4 設定する項目 (年、月、日、時、分) を ◀▶ で選択し、▲▼ で変更します。

5 **年 , 月 , 日**を選択します。

6 **年 , 月 , 日、月 / 日 / 年、日 , 月 , 年**から日付の並び順を選択します。

7 **MENU/OK** ボタンを押します。
言語と日時の設定が完了し、撮影を開始できます。

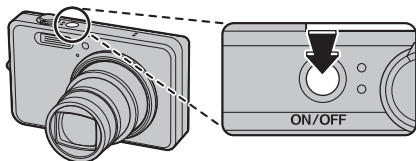
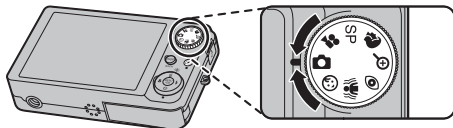
メモ : カメラの時計
バッテリーを取り外して長期間保管したときも言語設定と日時設定がクリアされ確認画面が表示されます。バッテリーを入れて約２時間以上経過していれば、カメラから取り外しても、約 24 時間保持されます。

（オート）で撮影する

ここでは、撮影の基本的な流れを説明します。（オート）以外の撮影モードに切り換える方法については、35 ページを参照してください。

カメラの電源をオンにする

1 **ON/OFF**（電源）ボタンを押して、カメラの電源をオンにします。

ON/OFF

2 モードダイヤルを に合わせます。

3 バッテリー残量を確認します。

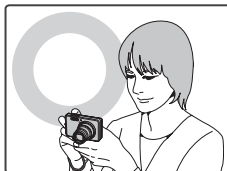
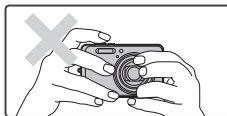
バッテリー残量を液晶モニターで確認します。

バッテリー残量

表示	意味
（白点灯）	バッテリーの残量は充分にあります。
（白点灯）	バッテリーの残量は約半分以下です。
（赤点灯）	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。
（赤点滅）	バッテリー残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを充電してください。

カメラを構えて、構図を決める

1 カメラを構えます。

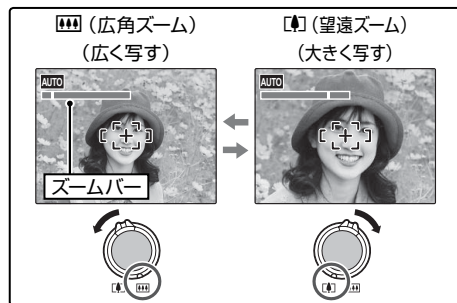
- 手ぶれを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。
- レンズやフラッシュに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。

2 構図を決めます。

- 被写体の中心を液晶モニターの AF フレームに合わせ、構図を決めます。
- このカメラは 5 倍の光学ズームを装備しています。ズームレバーを操作して、構図を調整します。

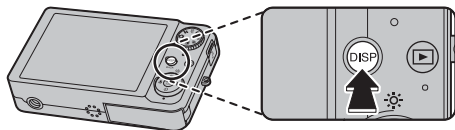
ズームを使うには

ズームレバーを操作すると、ズームが作動して被写体の大きさを変えることができます。

広い範囲を写したいときは [W] 側に、被写体を大きく写したいときは [T] 側に、ズームレバーを回してください。

[W]（広角ズーム）（広く写す）
[T]（望遠ズーム）（大きく写す）
AUTO
ズームバー

- デジタルズームを使うと、被写体をさらに大きく撮影できます。手軽にデジタルズームで撮影するにはモードダイヤルを (デジタルズーム) に合わせます（→ P.36）。セットアップメニューの**デジタルズーム**でも、デジタルズームが使えるように設定できます（→ P.80）。

フレーミングガイドを使って構図を決める

撮影時に **DISP/BACK** ボタンを押すごとに、液晶モニターの表示が**文字表示あり**、**文字表示なし**、**フレーミングガイド表示**の順に切り替わります。フレーミングガイドを使うと、縦横にガイド線が表示され、構図を決めやすくなります。

文字表示あり

文字表示なし

フレーミングガイド表示

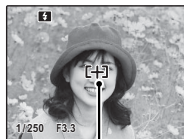
注意

被写体を画面の中央に配置しないときは、必ず AF/AE ロック (→ 28 ページ) を使ってください。AF/AE ロックをしないと、被写体にピントが合わないことがあります。

ピントを合わせて撮影する

1 シャッターボタンを半押しして、AF フレーム内の被写体にピントを合わせます。

AF フレーム

半押し

AF フレームが小さくなり、ピントが合います

ピントが合ったとき

ピピッと音が鳴り、インジケーターランプが緑色に点灯します。

ピントが合わないとき

!AF が液晶モニターに表示され、インジケーターランプが緑色点滅します。構図を変えるか、AF/AE ロックを使ってください (→ 28 ページ)。

チェック

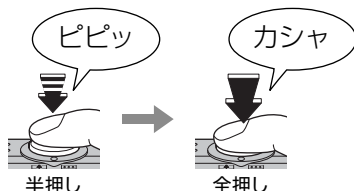
シャッターボタンを半押しすると、レンズ動作音が発生します。

2 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます（全押しします）。

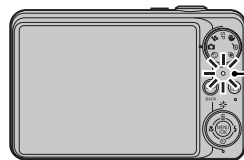
写真が撮影されます。

シャッターボタンの半押しと全押しについて

シャッターボタンを軽く押して、そのまま指を動かさないでいることを「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しすると、ピントと明るさが決まります。

指を放さずにさらに深く押し込む（全押しする）と、写真を撮影できます。シャッターボタンを押すときは、カメラが動いて手ぶれが起きないように、静かに押し込んでください。

☛ チェック

暗い場所では、シャッターボタンを全押ししたときに、フラッシュが発光することがあります。フラッシュが発光しないようにフラッシュの設定を変更できます（→ 31 ページ）。

インジケーターランプ

インジケーターランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。

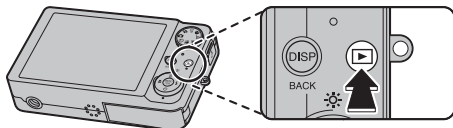
インジケーターランプ	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	被写体にピントが合っていないか、手ブレが発生しています（撮影できます）。
緑と橙色の交互点滅	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像を記録しています（続けて撮影できます）。
橙色点灯	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像を記録しています（撮影できません）。
橙色点滅	フラッシュ充電中です（フラッシュは発光しません）。
赤色点滅	• メモリーカードが正しくフォーマットされていないか、メモリーカード / 内蔵メモリーが壊れているか、メモリーの空き容量がないかのいずれかの原因により、画像を記録できません。 • レンズ動作の異常です。

メモ : 警告

液晶モニターにも、警告表示が表示されます。詳細は 97 ページを参照してください。

撮影した画像を見る

撮影した写真は、液晶モニターで再生できます。大切な写真を撮る前には、試し撮りをして、確認しましょう。

1 ▶（再生）ボタンを押します。

最後に撮影した画像を右のように液晶モニターいっぱいに表示します。

2 ◀ または ▶ を押して、見たい画像を選びます。

◀ : 前の画像が表示されます。

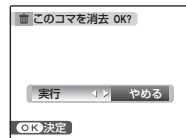
▶ : 次の画像が表示されます。

チェック

シャッターボタンを半押しすると、撮影画面に戻ります。

不要な画像を消去するには

消去したい画像が表示されているときに、🗑（消去）ボタンを押します。

- 確認画面が表示されます。**実行**を選んで、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 削除するのをやめたい場合は、**やめる**を選んで、**MENU/OK** ボタンを押してください。

メモ : 消去

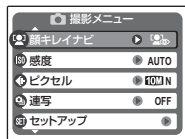
メニュー操作でも画像を消去できます (→ 44 ページ)。

顔キレイナビで撮影する

顔キレイナビを使うと、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。人物が左右に並んでいるときなど、背景にピントが合いがちなシーンでの撮影に適しています。また、赤目（フラッシュ発光によって瞳が赤くなる現象）も補正できます。

顔キレイナビは、、、、、、、、、、、、、、、M の撮影モードで使えます（→ 35 ページ）。

1 **MENU/OK** ボタンを押して、撮影メニューを表示します。

撮影メニュー
顔キレイナビ
感度 AUTO
ピクセル 10M N
連写 OFF
セットアップ

2 **顔キレイナビ**を選びます。

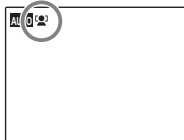
3 設定の変更に移ります。

4 顔キレイナビ設定を選びます。

設定	意味
ON ON	顔キレイナビと赤目補正の両方を行います。フラッシュ撮影するときに選びます。
ON OFF	顔キレイナビは行いますが、赤目補正は行いません。
OFF	顔キレイナビと赤目補正のどちらも行いません。

5 **MENU/OK** ボタンを押して決定します。

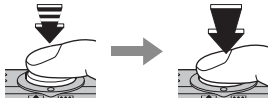
撮影画面が表示されます。

顔キレイナビを ON にすると、液晶モニターに が表示されます。

6 被写体に合わせて構図を決めます。

人物の顔の上に緑色の枠が表示されます。

緑色の枠

カメラが複数の顔を検出した場合、中央付近の顔の上に緑色の枠が、その他の顔の上に白い枠が表示されます。

7 撮影します。

緑色の枠内の顔にピントと明るさを合わせて撮影します。

注意

- 縦位置撮影時も顔を検出できます。
- 顔が検出されない場合（→ 92 ページ）は、シャッターボタンを半押ししたときに液晶モニターの中央にピントが合います。
- 顔が検出できないときは、赤目補正されません。
- 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
- 撮影モードが 🌅 または 📷M のときは、ピントは人物の顔に合いますが、各撮影モードの設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。

顔キレイナビについて

顔キレイナビを使うと、一人旅などでセルフタイマーを使った自分撮りができます（→ 34 ページ）。

さらに、次のような機能も使えます。

- 赤目補正（→ 71 ページ）
- スライドショー（→ 72 ページ）
- 撮影画像表示の画像拡大チェック（→ 79 ページ）

AF/AE ロック撮影する

静止画撮影時にシャッターボタンを半押しすると、ピントと明るさが決まります。そのまま半押しを続けて、ピントと明るさを固定することを「AF/AE ロック」といいます。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したいときに便利です。

1 ピントを合わせたい被写体に AF フレームを合わせます。

2 シャッターボタンを半押しします。

被写体にピントが合い、インジケーターランプが緑点灯します。

チェック

シャッターをきる前なら、AF/AE ロックは何度でもやり直せます。

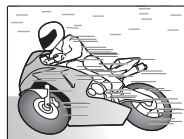
3 半押ししたまま構図を変えます。

被写体との距離は変えないでください。

4 そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。

オートフォーカスの苦手な被写体について

このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。

鏡や車のボディなど光沢のあるもの

高速で移動する被写体

その他のオートフォーカスの苦手な被写体 :

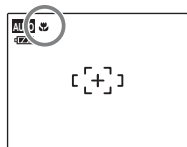
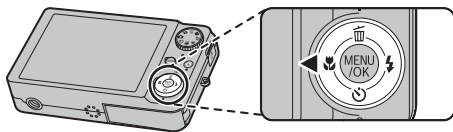
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの (背景と同色の服を着ている人物など)
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合 (コントラストの強い背景の前の被写体など)

このようなときは、AF/AE ロック機能をお使いください (→ 28 ページ)。

近距離撮影する（マクロ）

被写体に近づいて大きく撮影したいときに使います。
マクロは、、、、、、、、TEXT、 M
の撮影モードで使えます（→ 35 ページ）。、TEXT で
は自動的にマクロに設定されます。

1 (◀) ボタンを押してマクロに設定します。

MENU
/OK

マクロに設定すると、 が
表示されます。

2 構図を決めてピントを合わせます。

チェック

ズームレバーを使うと、構図を調整できます（→ 22 ページ）。

3 撮影します。

マクロを解除するにはもう一度 (◀) ボタンを押します。カメラの電源をオフにしたときや撮影モードを切り換えたときも、マクロが解除されます。

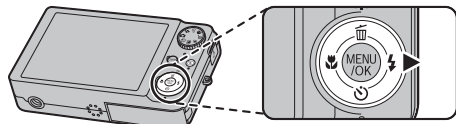
チェック

- マクロ撮影時は手ブレしやすいので、三脚の使用をおすすめします。
- マクロ撮影時には、ピントは中央付近に固定されます。

ϟ フラッシュ撮影する

夜や暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。

1 フラッシュ設定を選びます。

ϟ（▶）ボタンを押すたびに、設定が切り替わります。

各撮影モードで使用できるフラッシュの設定については 102 ページをご参照ください。

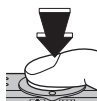
フラッシュ設定	説明
AUTO（オートフラッシュ、表示なし）	ほとんどの状況に適しています。カメラが暗いと判断したときにフラッシュが発光します。
ϟ（強制発光フラッシュ）	逆光で被写体が暗くなっているときに使います。周囲の明るさにかかわらず、フラッシュが発光します。
⊛（フラッシュ発光禁止）	フラッシュ撮影が禁止されている場所などでの撮影に適しています。被写体が暗いときでも、フラッシュを発光しません。暗いときは三脚の使用をおすすめします。
Sϟ（スローシンクロ）	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。明るい場所では露出オーバーになることがあります。 撮影モードで ☾ を選ぶと、シャッタースピードが最長 4 秒のスローシャッターになります。必ず三脚をご使用ください。

2 構図を決めてピントを合わせます。

チェック

- フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターに が表示されます。
- シャッタースピードが遅く、手ぶれしやすい状態では、液晶モニターに が表示されます。フラッシュを 以外にするか、三脚をご使用ください。

3 撮影します。

フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。

顔キレイナビが （顔キレイナビ）ON （補正）ON のときのフラッシュ設定について

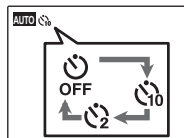
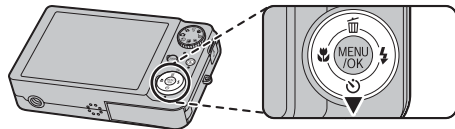
顔キレイナビが （顔キレイナビ）ON （補正）ON のときは、フラッシュ発光時には必ず赤目軽減を行います。そのため、フラッシュは、 （赤目軽減オートフラッシュ）、 （赤目軽減＋強制発光フラッシュ）、 （フラッシュ発光禁止）、 （赤目軽減＋スローシンクロ）から設定できます。

（赤目軽減オートフラッシュ）は、人物を撮影するのに適しています。暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る「赤目現象」を軽減します。

セルフタイマーを使って撮影する

このカメラは、撮影者を含めた集合写真に適した「10秒後撮影」と、シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐ「2秒後撮影」の2種類のセルフタイマーを搭載しています。セルフタイマーは、すべての撮影モードで使えます。

1 セルフタイマーを設定します。

(▼)ボタンを押すたびに、設定が切り替わります。

:10秒後撮影と
:2秒後撮影から選択してください。

2 構図を決めてピントを合わせます。

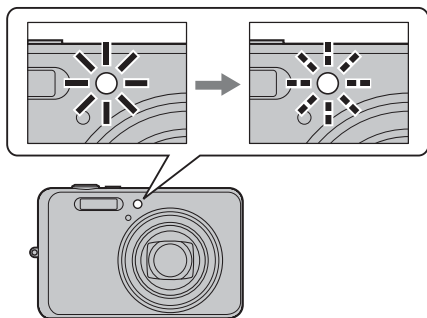
3 セルフタイマーを開始します。

シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーが開始します。液晶モニターには、シャッターが切れるまでの秒数が表示されます。

タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

注意

シャッターボタンを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピントが合わなかったり、適正な明るさにならないことがあります。

「10 秒後撮影」では、カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。「2秒後撮影」では、セルフタイマー開始と同時に点滅します。

カウントダウン終了後、すぐに動かないでください。

注意

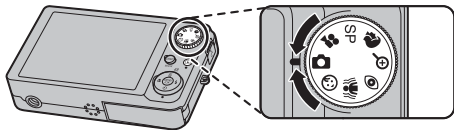
セルフタイマーは、撮影が完了すると、自動的に解除されます。撮影モードを切り換えたとき、再生モードに切り換えたとき、カメラの電源がオフになったときも、セルフタイマーは解除されます。

顔キレイナビでセルフタイマー撮影する

セルフタイマー撮影時に顔キレイナビを使うと、事前にピントを合わせなくても、カメラが自動的に人物の顔を検出してピントを合わせます。撮影者を含めた集合写真や自分撮り（セルフポートレート）のときに便利です。

顔キレイナビでセルフタイマー撮影するには、撮影メニューで顔キレイナビをONに設定します(→26 ページ)。シャッターボタンを全押しすると、撮影までの間に顔を検出し、シャッターがきれる直前にピントと明るさを合わせます。

モードダイヤルで撮影モードを切り換える

撮影モードを切り換えることで、状況（シーン）に適した設定を行うことができます。モードを切り換えるには、モードダイヤルを回して、使用するモードアイコンを指標に合わせます。

チェック

- 各撮影モードで使用可能なフラッシュ設定については、102ページをご覧ください。
- （→37ページ）以外の撮影モードでは、感度は **AUTO** に固定されます（→66ページ）。

AUTO（オート）

カメラまかせの簡単操作できれいな写真を撮影できます。ほとんどの状況に適しています。操作の流れについては、「（オート）で撮影する」（→21ページ）をご覧ください。

ベビー

赤ちゃんの肌を自然に撮影することができます。フラッシュは常に発光禁止になります。

ブレ軽減

子供やペットなど、動きの速い被写体の撮影に適しています。

シャッタースピードを速くすることで、手ブレだけでなく、被写体ブレも軽減できます。

赤目軽減

暗い場所でフラッシュを使用して人物を撮影するときに、瞳が赤く写る「赤目現象」を軽減します。

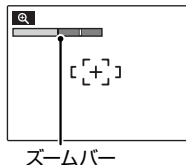
デジタルズーム

離れた場所にいる被写体を手早くアップで撮影したいときに便利です。モードダイヤルをに合わせるとデジタルズームが作動し、3 倍の倍率で撮影できます。ズームレバーを操作すると、光学ズームでさらに5倍（合わせて 15 倍）までズームできます。

ズームバー

デジタルズーム
3 倍

光学ズーム 5 倍

注意

- デジタルズームを使うと、光学ズームに比べて画質が劣化します。
- セットアップメニューの **デジタルズーム**と異なり、デジタルズームの倍率は3倍に固定され、調整できません。

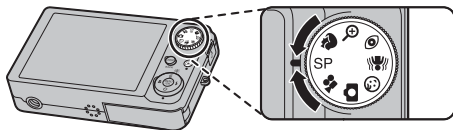
人物

人物の撮影に適しています。肌の色が自然で、ソフトな印象の写真になります。

SP シーンポジション

いろいろな撮影シーンに合わせて、カメラの設定を最適な状態にする 13 種類のシーンポジションが用意されています。お好みのシーンポジションを設定できます。

■よく使うシーンを設定する（シーン選択）

1 モードダイヤルを SP に合わせます。

2 **MENU/OK** ボタンを押します。

撮影メニューが表示されます。

3 **シーン選択**を選びます。

4 設定の選択に移ります。

5 設定したいシーンポジションを選びます。

初期設定では ▲（風景）が設定されています。

6 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

■シーンポジションの種類

M マニュアル

ピクセル（→ 66 ページ）、**感度**（→ 66 ページ）、**露出補正**（→ 67 ページ）、**測光**（→ 68 ページ）、**ホワイトバランス**（→ 68 ページ）などの撮影機能を、撮影者が自由に設定できます。

▲ 風景

昼間の風景撮影に適しています。建物や山などの風景をくっきりと仕上げます。フラッシュは常に発光禁止になります。

スポーツ
動いている被写体の撮影に適しています。シャッタースピードは高速になります。

夜景
夕景や夜景の撮影に適しています。最長３秒のスローシャッターでの撮影が行われます。手ブレ防止のため三脚のご使用をおすすめします。

ナチュラルフォト
暗い場面でも、目で見たままの雰囲気を活かした自然な写真になります。室内やフラッシュを使用できない場所での撮影にも適しています。

フラッシュは常に発光禁止になりますが、自動的に高感度になるため、暗い場所でも手ブレや被写体ブレを軽減します。

ビーチ
日差しの強い浜辺で、画像が暗くなるのを防ぎ、明るくくっきりと撮影します。

スノー
白く輝く雪景色で、画像が暗くなるのを防ぎ、明るくくっきりと撮影します。

花火
スローシャッターで打ち上げ花火を色鮮やかに撮影します。手ブレ防止のため三脚のご使用をおすすめします。

メモ：露光時間の設定

◀ または ▶ を押すと、シャッタースピードを 1/2 秒〜 8 秒に設定できます。

夕焼け

夕焼けを赤く鮮やかに撮影します。

花の接写

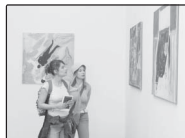
花に近づいて撮影するときに使用します。花びらの色を鮮やかに撮影できます。

ピントが合う範囲は マクロになり、フラッシュは常に発光禁止になります。

パーティー

室内での結婚式やパーティーの撮影で使用します。薄暗い場所でも雰囲気を活かした自然な写真になります。

美術館

美術館など、フラッシュ光やシャッター音を避けた方が良い場所での撮影に使います。フラッシュやセルフタイマーランプが発光禁止になり、操作音やシャッター音が鳴らなくなります。

チェック

美術館などでは撮影を制限している場合があります。撮影前にご確認ください。

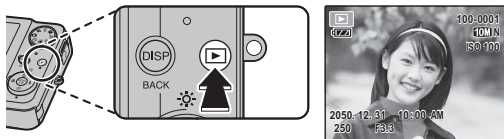
TEXT 文字の撮影

書類やホワイトボードなどを撮影するときに使用します。文字をはっきりと撮影します。

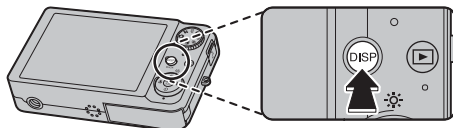
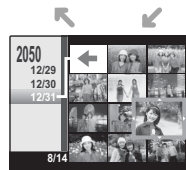
ピントが合う範囲は マクロになります。

いろいろな再生

画像を再生する

▶ ボタンを押すと、最後に撮影した画像が表示（1コマ再生）されます。

- 1つ前の画像を見るには ◀ を押します。次の画像を見るには ▶ を押します。
- ◀ または ▶ を約1秒間押し続けると、一覧表示画面に切り替わり、画像を手早く選べます。ボタンを放すと1コマ再生に戻ります。

液晶モニターの表示切り換え

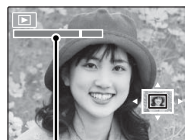
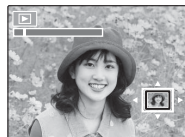
DISP/BACK ボタンを押すごとに、再生表示モードが切り替わります。

文字表示あり → 文字表示なし

日付再生

☛ チェック

他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに 🎁 (プレゼントアイコン) が表示されます。

画像を拡大する

1コマ再生時に画像をズーム（拡大）できます。

ズームレバーを [望遠アイコン]（望遠）側に回すと拡大します。

ズームバー

ズームレバーを [広角アイコン]（広角）側に回すと縮小します。

画像の拡大表示中に ▲、▼、◀ または ▶ を押すと、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。

ナビゲーションで現在の表示位置がわかります。

再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

チェック

- 最大ズーム倍率は、設定した**ピクセル**（→ 66 ページ）によって変わります。
- **ピクセル**が 03M の画像の場合、再生ズームは使えません。

マルチ再生する

1コマ再生時にズームレバーを W（広角）側へ操作すると、2コマ、9コマ、100コマ（J120、J150wのみ）の一覧表示にして、画像を比較したり、見たい画像を選ぶことができます。

ズームレバーを W（広角）側へ回すたびに表示される画像の数が2コマ、9コマ、100コマ（マイクロサムネイル）の順に増え、T（望遠）側へ回すたびに減ります。

レバーを W 側へ回すたびに表示される画像が増えます。

レバーを T 側へ回すたびに表示される画像が減ります。

- ▲、▼、◀ または ▶ を押して画像を選びます。
- **MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示します。
- 9コマの一覧表示または100コマの一覧表示（マイクロサムネイル）では、▲ または ▼ を押してページを切り換えられます。
- 100コマの一覧表示（マイクロサムネイル）はFinePix J120、FinePix J150wのみの機能です。

日付ごとに再生する

同じ日に撮影した画像だけを一覧表示できます。

1 日付再生画面を表示します。

1コマ再生画面で、下の画面が表示されるまで、**DISP/BACK** ボタンを押します。

2 ▲、▼、◀ または ▶ を押して、液晶モニターの左上にある矢印 (⇦) を選びます。

3 日付選択に移ります。

4 日付を選びます。

5 選んだ日付の画像だけを一覧表示します。

6 1コマ再生したい画像を選びます。

▲、▼、◀ または ▶ を押して、見たい画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を1コマ再生します。

いろいろな再生

画像をまとめて消去する

再生メニューでは、画像を 1 コマだけ消去したり、内蔵メモリー / メモリーカード内の画像をすべて消去することができます。**誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。**1 コマ再生画面での画像の消去については、25 ページを参照してください。

再生メニューで 1 コマ消去する

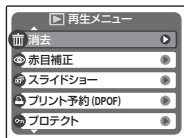
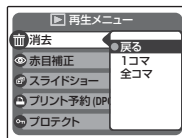
再生メニューを使って画像を消去するには、次の操作を行います。

1 再生時に **MENU/OK** ボタンを押して、再生メニューを表示します。

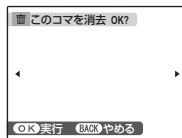
再生メニュー
消去
赤目補正
スライドショー
プリント予約 (DPOF)
プロテクト

2 **消去**を選びます。

3 設定の変更に移ります。

再生メニュー
消去
赤目補正
スライドショー
プリント予約 (DP
プロテクト
戻る
1コマ
全コマ

4 **1 コマ**を選びます。

5 **MENU/OK** ボタンを押すと、1 コマ削除画面が表示されます。

このコマを消去 OK?
OK 実行　BACK やめる

6 消去する画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、表示中のコマが消去されます。

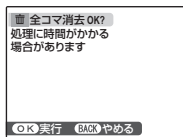
MENU/OK ボタンを押すと同時に画像が消去されます。誤って消去しないように、ご注意ください。

手順 6 を繰り返すと、続けて画像を消去できます。消去を完了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

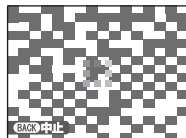
すべてのコマを消去する

1 前ページの手順 4 で**全コマ**を選びます。

2 **MENU/OK** ボタンを押すと、全コマ削除画面が表示されます。

全コマ消去 OK?
処理に時間がかかる
場合があります
OK 実行　BACK やめる

3 **MENU/OK** ボタンを押すと、すべての画像が削除されます。

消去中は、右のような画面が表示されます。全コマ消去を中止するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

BACK 中止

注意

DISP/BACK ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。

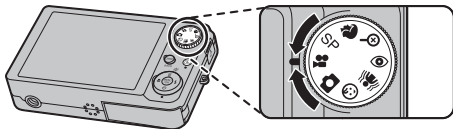
メモ : 画像の消去

- メモリーカードがカメラに入っているときは、メモリーカード内の画像が消去されます。メモリーカードが入っていないときは、内蔵メモリーの画像が消去されます。
- プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください (→73 ページ)。
- プリント予約を設定している画像を消去しようとすると、メッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、その画像を消去します。

動画の撮影と再生

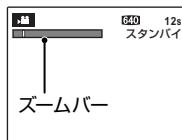
動画を撮影する

音声付きの Motion JPEG 形式の動画を撮影できます (→ 101 ページ)。

1 モードダイヤルを 🎥 に合わせます。

液晶モニターに撮影可能時間が表示されます。

2 ズームレバーを回して、ズーム操作をします。

撮影中はズームできません。

ズームバー

3 シャッターボタンを全押しして、撮影を開始します。

撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。

撮影中は、●REC の文字と残り時間のカウントダウンが表示されます。

4 シャッターボタンを半押しして、撮影を終了します。

内蔵メモリーまたはメモリーカードに空きがなくなるか、動画のファイルサイズが 2GB に達すると、撮影は自動的に終了します。

チェック

- 撮影開始と同時にピントが固定されますが、露出とホワイトバランスはシーンに応じて自動的に変化します。撮影した動画の色と明るさが、撮影前の液晶モニターの表示と異なることがあります。
- 動画の撮影形式は、モノラル音声付き Motion JPEG 形式です（→ 101 ページ）。最大ファイルサイズは 2GB、最短記録時間は1秒です。標準的な撮影時間については、103 ページをご参照ください。

注意

音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようご注意ください。

動画のピクセル（サイズ）を変更するには

動画の撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押し、**ピクセル**を選びます。640（640 × 480 ピクセル、画質重視）または 320（320 × 240 ピクセル、記録時間重視）から選択できます。

撮影メニュー
ピクセル
セットアップ
640 29s
320 53s

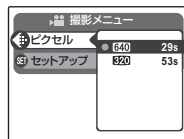
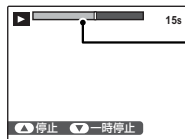
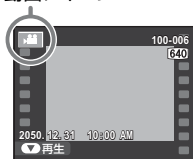
動画の撮影と再生

▶ 動画を再生する

画像の再生時に動画を選択し、▼ を押すと動画を再生します。

動画アイコン

100-006
640
2050. 12. 31 10:00 AM
▼再生

15s
▲停止 ▼一時停止

再生時間と進行状況を示すバーが表示されます。

注意

- スピーカーを指などでふさがないでください。音が聞き取りにくくなります。
- 高輝度の被写体を撮影した場合、再生時に白い縦スジや黒い横スジが入ることがありますが故障ではありません。

メモ：パソコンで動画を再生する

パソコンで動画を再生するときは、カメラをパソコンに接続して、動画をパソコンに転送してください（→ 50 ページ）。

動画再生時の操作方法について

機能	操作	説明
再生 / 一時停止	▼	再生を開始します。再生が終わると停止します。再生中にもう一度 ▼ を押すと、一時停止します。
停止	▲	再生を終了します。
巻き戻し / 早送り	◀ ▶	再生中に ◀ または ▶ を押し続けると巻き戻し / 早送りします。
コマ送り	◀ ▶	一時停止中に ◀ または ▶ を押すとコマ送りします。
動画の削除	▲	停止中に 🗑 を押すと、現在表示中の動画を消去できます。
再生音量の調節	MENU/OK + ▲▼	再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。▲ または ▼ を押して動画の再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。 • 動画の再生音量は、セットアップメニュー（→ 80 ページ）でも設定できます。

動画の撮影と再生

画像をテレビで見る

テレビに接続する

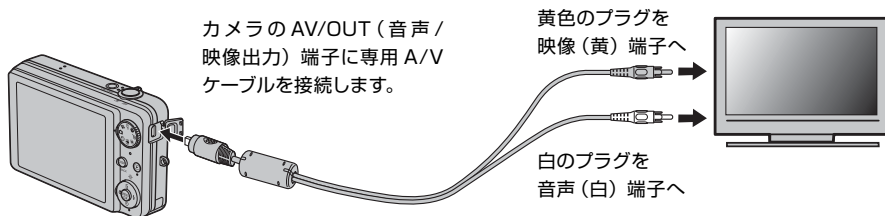
テレビに接続すると、写真を大勢で楽しむことができます。

1 カメラの電源をオフにします。

2 付属の A/V（音声 / 映像）ケーブルでカメラとテレビを接続します。

カメラの AV/OUT（音声 / 映像出力）端子に専用 A/V ケーブルを接続します。

黄色のプラグを映像（黄）端子へ

白のプラグを音声（白）端子へ

3 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換えます。

テレビの音声 / 映像入力については、テレビの説明書をご参照ください。

4 ▶（再生）ボタンを約 1 秒間押して、カメラの電源をオンにします。

カメラの液晶モニターが消え、画像や動画がテレビで再生されます。

チェック

- テレビに接続する場合は、別売の AC パワーアダプター AC-5VX と DC カプラー CP-45 の使用をおすすめします(→ 84 ページ)。
- 音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。
- 動画を再生すると、静止画に比べて画質が低下します。

注意

専用 A/V（音声 / 映像）ケーブルは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。

画像をパソコンに転送する

パソコンと接続する

付属のソフトウェア FinePixViewer（Windows の場合は FinePixViewer S）を使うと、カメラと接続したパソコンに画像をコピーして、画像の閲覧、管理、印刷をすることができます。また、インターネットに接続できる環境があれば、デジカメプリントを注文する（Windows のみ）こともできます。カメラとパソコンを接続する前に、FinePixViewer をパソコンにインストールしてください。インストール前にカメラをパソコンに接続すると、正常に接続できなくなる場合があります。

Windows に FinePixViewer S をインストールする

1 インストールの前に、お使いのパソコンが次の使用条件に合うか確認します。

	動作環境	推奨環境	
OS	Windows Vista、Windows XP Home Edition/Windows XP Professional（SP2 以上）、Windows 2000 Professional（SP4 以上）（すべてプリインストールされたモデルのみ。）	Windows Vista	Windows XP
CPU	Pentium 200MHz 以上（Windows Vista/XP の場合は、Pentium 4/800MHz 以上）	Pentium4/ 3GHz 相当以上	Pentium4/ 2GHz 相当以上
メモリ	128MB 以上(Windows Vista/XP の場合は 512MB 以上)	1GB 以上	512MB 以上
ハードディスク空き容量	**インストールに必要な容量**：450MB 以上 **動作に必要な容量**：600MB 以上	15GB 以上	2GB 以上
ディスプレイ	800 × 600 ドット以上、16 ビットカラー以上	1024 × 768 ドット以上 フルカラー	
その他	• 本体標準の USB ポート。その他の USB ポートは動作保証外 • 画像ネットサービス、メール添付機能使用時に、インターネット接続ができる環境（通信速度 56kbps 以上推奨）が必要		

チェック

FinePixViewer CD-ROM のラベル上部には、お手元の CD-ROM のバージョンが記載されています。ソフトウェアのアップデート対象バージョンの確認時やお問い合わせの際に必要な情報です。

注意

50 ページに記載されている以外の Windows OS では使用できません。自作パソコンや、OS をアップグレードしたパソコンは、動作保証外です。

2 パソコンを起動します。

コンピューターの管理者アカウント（例えば、「Administrator」）でログインしてください。

3 起動中のアプリケーションを終了して、付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れます。

インストーラーが自動で起動します。

Windows Vista をお使いの方へ

同梱の CD-ROM をパソコンに入れたときに「自動再生」ウィンドウが表示された場合は、**SETUP.EXE の実行**をクリックしてください。「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されるので、**許可**をクリックしてください。

インストーラーを手動で起動する

インストーラーが自動起動しない場合は、手動で起動させます。

1 **マイコンピュータ**を開きます。
- Windows Vista/XP：スタートメニューから**コンピュータ**（Windows XP では、**マイコンピュータ**）をクリックします。
- Windows 2000 Professional：デスクトップの**マイコンピュータ**アイコンをダブルクリックします。

2 **FINEPIX** の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。「FINEPIX」ウィンドウが表示されます。

3 **SETUP** または **SETUP.exe** をダブルクリックします。

4 **FinePixViewer のインストール**をクリックします。

画面の指示にしたがってソフトウェアをインストールしてください（Windows Media Player や DirectX が CD-ROM の中身よりも古いバージョンの場合は、これらのソフトウェアをインストールします）。

5 「FinePixViewer のインストールが完了しました」というメッセージが表示されたら、CD-ROM をパソコンから取り出し、**再起動**ボタンをクリックして、パソコンを再起動してください。

これでインストールは終了しました。続いて、「カメラとパソコンを接続する」（→ 56 ページ）に進んでください。

☛ チェック

CD-ROM は再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出した後、湿気がなく日が当たらないところに大切に保存してください。

Windows パソコンから FinePixViewer S をアンインストール（削除）する

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみアンインストールを行ってください。**アンインストールの前に FinePixViewer を終了し、カメラとパソコンの接続を外してください。**

1 コントロールパネルを開き、「プログラムのアンインストール」（Windows Vista）または「プログラムの追加と削除」（Windows XP/2000）で FinePixViewer S を削除してください。

2 確認ダイアログが表示されたら、メッセージをよくお読みの上、**OK** をクリックしてください。

Mac OS X に FinePixViewer をインストールする

1 お使いのパソコンが、次の使用条件に合うか確認します。

	動作環境
対応機種	Power Mac G3、PowerBook G3、Power Mac G4、iMac、iBook、Power Mac G4 Cube、PowerBook G4、Power Mac G5、MacBook、MacBook Pro、Mac mini、Mac Pro
CPU	PowerPC または Intel Processor
OS	Mac OS X (バージョン 10.3.9 ～ 10.4.11 2008 年 8 月現在※)
メモリ	256MB 以上
ハードディスク空き容量	インストールに必要な容量：200MB 以上 動作に必要な容量：400MB 以上
ディスプレイ	800 × 600 ドット以上、約 32,000 色以上
その他	• 本体標準の USB ポートを推奨。その他の USB ポートは動作保証外 • 画像ネットサービス、メール添付機能使用時に、インターネット接続ができる環境（通信速度 56kbps 以上推奨）が必要

※ 最新の対応 OS については、下記のホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/

2 パソコンを起動して、起動中のアプリケーションを終了します。

3 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れると、**FinePix** アイコンが表示されます。**FinePix** アイコンをダブルクリックし、続いて **Installer for MacOSX** をダブルクリックします。

4 **FinePixViewer のインストール**をクリックします。

画面の指示にしたがって、ソフトウェアをインストールします。管理者パスワードの入力画面が表示されたら、管理者名とパスワードを入力し、**OK** をクリックしてください。

5 「FinePixViewer のインストールが完了しました」というメッセージが表示されます。**終了**をクリックしてください。

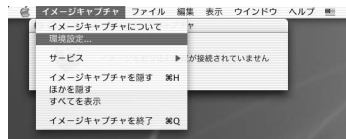
6 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

注意

Web ブラウザに Safari をご使用の場合、CD-ROM を取り出す際に、「ディスク“FinePix”は使用中のため取り出せませんでした。」のメッセージが表示されることがあります。
その場合は、Dock 内にある Safari のアイコンをクリックして起動し、アプリケーションメニューの **Safari** − **Safari を終了**を選択して終了させてから、CD-ROM を取り出します。

FinePixViewer の自動起動について

カメラを接続したとき、FinePixViewer を自動起動させるには、

1 **アプリケーション**フォルダから**イメージキャプチャ (Image Capture)** を起動します。
2 **イメージキャプチャ**メニューより**環境設定**を選択します。
3 **カメラを接続したときに起動する項目**から**その他**を選択します。
4 **アプリケーション**フォルダから **FPVBridge** を選択し、**開く**ボタンをクリックします。
5 イメージキャプチャを終了します。

これでインストールは終了しました。続いて、56 ページの「カメラとパソコンを接続する」に進んでください。

☛ チェック

- CD-ROM は再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出した後、湿気がなく日が当たらないところに大切に保存してください。
- FinePixViewer CD-ROM のラベル上部には、お手元の CD-ROM のバージョンが記載されています。ソフトウェアのアップデート対象バージョンの確認時やお問い合わせの際に必要な情報です。

Macintosh パソコンから FinePixViewer をアンインストール（削除）する

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみアンインストールを行ってください。**アンインストールの前に FinePixViewer を終了し、カメラとパソコンの接続を外してください。**

1 アプリケーションフォルダにインストールされた FinePixViewerフォルダをドラッグして、「ゴミ箱」に入れます。

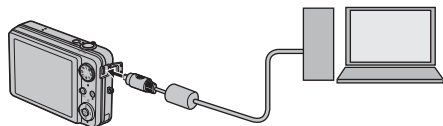
2 Finder メニューの**ゴミ箱を空にする**を選びます。

カメラとパソコンを接続する

実際にカメラをパソコンと接続して正常に動作することを確認してください。Windows パソコンをお使いの場合は、Windows の CD-ROM が必要になることがありますので、あらかじめご用意ください。

1 FinePixViewer をインストールしたパソコンを起動します。

2 カメラの電源をオフにします。

3 付属の USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続します。

☛ **チェック**

USB ケーブルは、向きに気をつけて、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。

4 ▶ ボタンを約 1 秒間押して、カメラの電源をオンにします。

5 画像を転送します。

FinePixViewer が自動的に起動するので、画面の指示に従って画像をパソコンにコピーします。転送を中止して終了するには、**キャンセル**をクリックします。

6 カメラとパソコンの接続を外します。

画像の保存が終了すると、カメラ / メディアの取り外し画面が表示されます。画面の指示に従い、カメラの電源をオフにしてからカメラとパソコンの接続を外してください。

注意

- 画像をコピーするときは、あらかじめバッテリーをフル充電するか、別売の AC パワーアダプター AC-5VX と DC カプラー CP-45 をご使用ください。通信中に電源がオフになると、メモリーカードまたは内蔵メモリー内のデータが破壊されることがあります。
- 内蔵メモリーの画像を転送する場合は、メモリーカードを取り出してください。
- メモリーカード内に大量の画像がある場合は、FinePixViewer の起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダを使って、転送してください。
- カメラとパソコンの接続を外す前に、カメラのインジケーターランプが消灯していることを確認してください。

- カメラとパソコンの通信時には、以下の操作をしないでください。メモリーカードや内蔵メモリーのデータが壊れたり、データが消えることがあります。
  - カメラの電源をオフにする
  - USB ケーブルを抜く
- メモリーカードの交換は、必ずカメラとパソコンの接続を外したあとに行なってください。
- FinePixViewer が自動起動しないときは、ソフトウェアが正しくインストールされていない可能性があります。パソコンとカメラの接続を外して、ソフトウェアを再インストールしてください。
- FinePixViewerでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパソコンのようにご利用になれないことがあります。
- パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

FinePixViewer の使い方、トラブルシューティング、オンライン Q&A については、FinePixViewer のヘルプを参照してください。

Fotonoma（フォトノマ）について

パソコンにインストールした FinePixViewer を起動すると、ユーザー登録画面が表示されます。ユーザー登録すると、製品サポートだけではなく、FUJIFILM の写真関連ポータルサイト「Fotonoma」（http://fotonoma.jp）への登録もできます。

ユーザー登録方法や Fotonoma についての詳しい情報は、付属の「Fotonoma ご案内ガイド」をご覧ください。

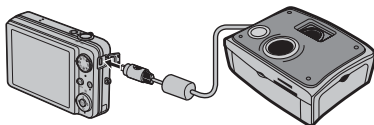
画像をプリントする

プリンターにカメラをつないでプリントする

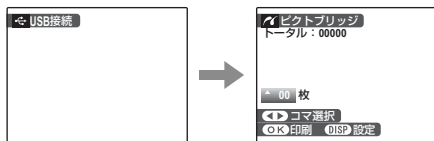
PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターがあれば、パソコンを使わなくても、カメラを直接プリンターにつないでプリントできます。

PictBridge

プリンターに接続する

1 付属の USB ケーブルでカメラとプリンターを接続し、プリンターの電源を入れます。

2 ▶ ボタンを約 1 秒間押して、カメラの電源をオンにします。液晶モニターに USB マーク が表示され、その後ピクトブリッジ画面が表示されます。

USB接続

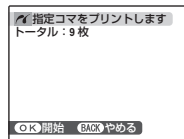
ピクトブリッジ
トータル：00000
00 枚
コマ選択
OK 印刷　DISP 設定

メモ
プリンターに接続する場合は、別売の AC パワーアダプター AC-5VX と DC カプラー CP-45 の使用をおすすめします（→ 84 ページ）。

その場で選んでプリントする

1 プリントしたい画像を選びます。

2 プリント枚数を指定します。
最大 99 枚まで設定できます。

3 手順 1 と 2 を繰り返し、プリントしたい画像をすべて選びます。プリント設定が終わったら、**MENU/OK** ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

指定コマをプリントします
トータル：9 枚
OK 開始　BACK やめる

4 もう一度 **MENU/OK** ボタンを押すと、プリントを開始します。

チェック

- プリント枚数を 1 枚も指定せずに **MENU/OK** ボタンを押したときは、表示中の画像が1枚プリントされます。
- お使いのプリンターの種類によっては、使えない機能があります。

メモ：日付を入れてプリントする

撮影した日付を入れてプリントするには、手順 1 または 2 で **DISP/BACK** ボタンを押します。ピクトブリッジの設定画面が表示されますので、▲ または ▼ を押して、**日付ありプリント** を選び、**MENU/OK** ボタンを押して決定します。

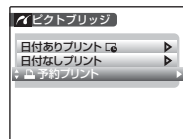
- 日付を印字したくないときは、**日付なしプリント**を選びます。
- 日付プリントするには、撮影時にカメラの日時設定が正しく設定されている必要があります。
- 日付プリントに対応していないプリンターに接続した場合は、**日付ありプリント** が選べません。

プリント予約した設定でプリントする

プリント予約 (DPOF)（→ 62 ページ）であらかじめ選んだ画像を設定した枚数分プリントします。

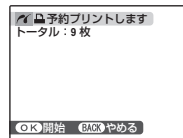
1 **DISP/BACK** ボタンを押して、ピクトブリッジの設定画面を表示します。

2 **予約プリント**を選びます。

ピクトブリッジ
日付ありプリント
日付なしプリント
予約プリント

3 **MENU/OK** ボタンを押すと、確認画面が表示されます。

予約プリントします
トータル：9 枚
OK 開始　BACK やめる

4 もう一度 **MENU/OK** ボタンを押すと、プリントを開始します。

画像をプリントする

プリントの中止

プリント中に **DISP/BACK** ボタンを押すと、プリントを中止します。プリンターによっては、すぐに中止できないことやプリントの途中で停止することがあります。プリントの途中で動作が止まってしまったときは、カメラの電源をいったんオフにしてから、もう一度電源をオンにしてください。

プリンターとの接続を切るには

カメラの液晶モニターに**プリント中**と表示されていないことを確認してから、カメラの電源をオフにして、USB ケーブルを取り外します。

チェック

- 内蔵メモリーまたはこのカメラでフォーマットしたメモリーカードを使って、プリントしてください。
- カメラとプリンターを USB ケーブルで直接つないでいるときは、プリンター側で設定した用紙サイズと印字品質でプリントされます。

プリントサービス店でプリントする（お店プリント）

「お店プリント」とは、**プリント予約 (DPOF)**(→ 62 ページ）であらかじめ DPOF 指定 (→ 62 ページ）した画像の入ったメモリーカードをフジカラーデジカメプリントサービス (FDI サービス）取扱店にお持ちいただき、「DPOF 指定でプリント」とお伝えいただくだけで、簡単に高画質でプリントできるサービスです。プリントしたい画像と枚数をカメラであらかじめ設定できるので、店頭での時間や手間を省けます。

デジタルカメラ

再生メニュー
消去
赤目補正
スライドシ
プリント予
プロテクト
日付あり設定
日付なし設定
全コマ解除

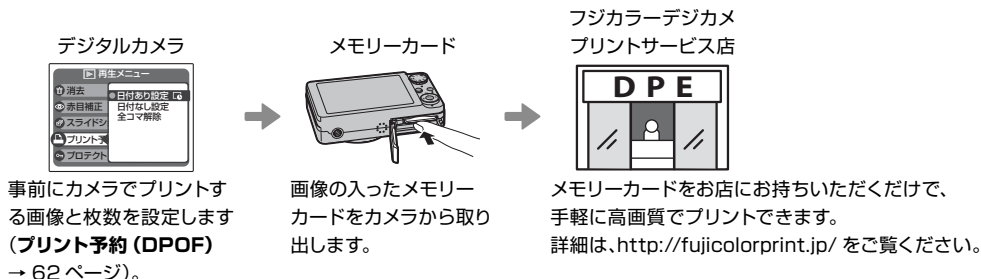
事前にカメラでプリントする画像と枚数を設定します（**プリント予約 (DPOF)** → 62 ページ)。

メモリーカード

画像の入ったメモリーカードをカメラから取り出します。

フジカラーデジカメ
プリントサービス店

DPE

メモリーカードをお店にお持ちいただくだけで、手軽に高画質でプリントできます。
詳細は､http://fujicolorprint.jp/ をご覧ください。

デジカメプリントのご注文について

- カメラであらかじめ DPOF 指定していなくても、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店の店頭で、プリントしたい画像や枚数、日付印字の有無を指定できます。お店のプリント受付機をご利用いただくと、画像を見ながら簡単に注文できます。
- 一部の店舗では、DPOF 指定をお受けしていない場合がありますので、ご注文時にご確認ください。
- パソコンに保存した画像なら、インターネットでもデジカメプリントをご注文いただけます。画像をパソコンに転送する方法は、50 ページをご参照ください。
- 内蔵メモリー内の画像は、お店プリントできません。再生メニューの**画像コピー**（→ 74 ページ）でメモリーカードに画像をコピーしてから**プリント予約 (DPOF)** で DPOF 指定して、プリントサービス店にお持ちください。
- 日付プリントする場合は、撮影時にすでにカメラの日時設定が正しく設定されている必要があります。撮影前にカメラの日時を正しく設定されていることをご確認ください (→ 20 ページ)。

プリントする画像を指定する（🖶 プリント予約（DPOF））

再生メニューの 🖶 **プリント予約（DPOF）**であらかじめ DPOF 指定（プリント予約）しておくと、カメラを PictBridge 対応プリンターに直接つないでプリントしたり（→ 58 ページ）、フジカラーデジカメプリントサービス（FDI サービス）取扱店でお店プリントするとき（→ 61 ページ）に、指定した内容で簡単にプリントできます。

DPOF 指定

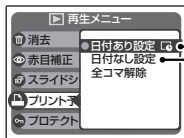
DPOF（ディーポフ）とは、Digital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたい画像や枚数、日付の印字の有無などの指定情報を、メモリーカードなどに記録するときの形式です。

DPOF™

■ 日付あり設定 / 日付なし設定

1 再生メニューで**プリント予約（DPOF）**を選びます（→70 ページ）。

2 **日付あり設定**または**日付なし設定**を選びます。

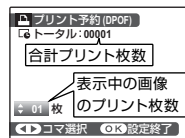
再生メニュー
消去
赤目補正
スライドシ
プリント予
プロテクト
日付あり設定
日付なし設定
全コマ解除

日付あり設定：撮影日を印字します。

日付なし設定：撮影日を印字しません。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

4 DPOF 指定する画像を選びます。

5 プリント枚数を選びます（最大 99 枚）。

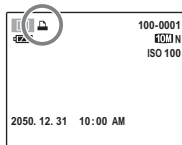
プリント予約 (DPOF)
トータル：00001
合計プリント枚数
01 枚
表示中の画像のプリント枚数
コマ選択 OK 設定終了

• DPOF 指定を取り消したいときは、プリント枚数が 0 になるまで ▼ を押します。

6 プリントしたいすべての画像に対して手順 4 と 5 を行います。

- 設定した内容を保存して終了するには、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 設定を変更せずに終了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

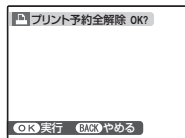
7 合計枚数が表示されますので、もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。

DPOF 指定（プリント予約）した画像には、再生時に が表示されます。

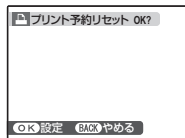
100-0001
10M N
ISO 100
2050. 12. 31　10:00 AM

■ 全コマ解除

現在設定されている DPOF 指定（プリント予約）を一度に解除できます。

全コマ解除を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、右のような確認画面が表示されます。もう一度、**MENU/OK** ボタンを押すと、DPOF 指定がすべて解除されます。

プリント予約全解除 OK?
OK 実行　BACK やめる

チェック

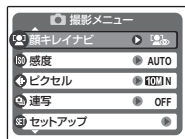
- 内蔵メモリーに記録している画像の DPOF 指定を変更するときは、メモリーカードを取り出してください。
- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで DPOF 指定することができます。
- 別のカメラで DPOF 指定された画像がメモリーカードに入っているときは、右図のようなメッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押して、既に設定されている DPOF 指定を取り消し、DPOF 指定し直してください。

プリント予約リセット OK?
OK 設定　BACK やめる

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

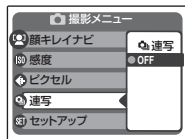
画像のサイズや感度、ホワイトバランスなど、撮影時に使う機能を設定できます。

撮影メニューの使い方

1 **MENU/OK** ボタンを押して、撮影メニューを表示します。

撮影メニュー
顔キレイナビ
感度 AUTO
ピクセル 10M N
連写 OFF
セットアップ

2 変更する項目を選びます。

3 設定の変更に移ります。

撮影メニュー
顔キレイナビ
感度
ピクセル
連写
セットアップ
連写
OFF

4 設定を変更します。

5 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

☛ チェック

撮影メニューで設定できる項目は、撮影モードによって異なります。

撮影メニュー一覧

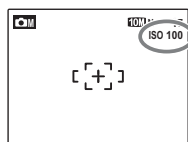
メニュー項目	機能	設定	工場出荷時
シーン選択	モードダイヤルが SP のときに、好きなシーンポジションを選んで、モードダイヤルに割り当てることができます（→37 ページ）。	[scene icons]	[scene icon]
顔キレイナビ	カメラが人物の顔を検出し、人物を明るく目立つように撮影できます（→ 26 ページ）。	[face icon]ON [eye icon]ON/ [face icon]ON [eye icon]OFF/OFF	[face icon]ON [eye icon]ON
感度	光に対する感度を変更できます（→ 66 ページ）。設定値が大きいほど高感度になり、暗いところでも撮影できます。	AUTO/3200 3M/ 1600/800/400/ 200/100/64	AUTO
ピクセル	撮影する画像の大きさを変更できます（→ 66 ページ）。	10M F/10M N/3:2/5M/ 3M/2M/03M	10M N
露出補正	画像の明るさを調整できます（→ 67 ページ）。	− 2EV 〜 +2EV （約 1/3EV ステップ）	± 0
測光	カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます（→ 68 ページ）。	[metering icons]	[metering icon]
ホワイトバランス	光源による色の違いを調整できます（→ 68 ページ）。	AUTO/[WB icons]	AUTO
連写	連続撮影ができます（→ 69 ページ）。	[icon] 連写 /OFF	OFF
セットアップ	カメラの基本的な設定を変えられます（→77 ページ）。	[icon]/[icon]1/[icon]2/[icon]3	—

メニューを使いこなす

感度を変更する（ISO 感度）

光に対する感度を変更できます。感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて感度設定を使い分けてください。**AUTO** に設定すると、被写体の明るさに応じて感度が自動的に設定されます。

チェック

- **AUTO** 以外の感度に設定すると、液晶モニターに感度の設定値が表示されます。
- **感度**を **3200** 3M の高感度に設定すると、5M 以上の**ピクセル**は 3M に変更され、黄色で表示されます。
- **感度**は、カメラの電源をオフにしても保持されます。
- 撮影モードが 📷M 以外のとき、感度は自動的に **AUTO** になり、それ以外の感度に設定することはできません。

記録する画像の大きさを変える（ピクセル）

記録する画像の大きさを変更できます。サイズ（ピクセル）が大きいほど画質が良くなり、小さいほどより多くの枚数を記録することができます。

設 定	用途例
10M F 10M N	四切（254mm × 305mm）、六切（203mm × 254mm）、A4 サイズ程度でプリントする場合に適しています。画質を優先する場合は 10M F を選んでください。3:2 は縦横比 3：2 です。
3:2	
5M	
3M	2L（127mm × 178mm）、A5 サイズ程度でプリントする場合に適しています。
2M	L（89mm × 127mm）サイズ、ハガキ、A6 サイズ程度でプリントする場合に適しています。
03M	電子メールへの画像添付やホームページ掲載に適しています。

現在の設定で撮影可能な枚数（→ 103 ページ）が、液晶モニターのピクセルアイコンの右側に表示されます。

チェック

- **ピクセル**は、カメラの電源をオフにしても撮影モードを切り換えても保持されます。
- **ピクセル**が 3M、2M、03M のときに**感度**を **3200** 3M にしてから**ピクセル**を 10M、3:2、5M のいずれかに変更すると、**感度**は **1600** に変更され、黄色で表示されます。

縦横比とピクセルについて

静止画の大きさ（ピクセル）を 3:2 に設定すると、静止画の縦横比がフィルムやポストカードと同じ 3：2 になります。**ピクセル**を 3:2 以外に設定すると、縦横比は 4：3 になります。

4:3　　3:2

画像の明るさを変える（露出補正）

画像の明るさを調整できます。被写体が明るすぎたり、暗すぎたり、被写体と背景のコントラスト（明暗の差）が大きい場合に使います。

＋補正
（暗い画像を明るくします）

ー補正
（明るい画像を暗くします）

露出補正の目安

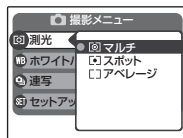
- **逆光の人物撮影：**
  +2/3EV ～ +1 2/3EV
- **スキー場などの反射が強く明るい場所：**+1 EV
- **画像の大部分を空が占める場合：**+1 EV
- **スポットライトを浴びた被写体、特に背景が暗い場合：**
  − 2/3EV
- **常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合：**
  − 2/3EV

チェック

- M 以外の撮影モードでは、露出補正は設定できません。
- 露出補正を± 0 以外に設定すると、液晶モニターに が表示されます。設定した露出補正値は、カメラの電源をオフにした後も保持されます。露出補正を解除するには、± 0 に設定してください。次のような状態では、露出補正は無効になります。
  - フラッシュモードが、**AUTO** または でフラッシュが発光したとき
  - フラッシュモードが または で、被写体が暗いとき
- 「EV」とは→ 101 ページ

明るさの測定方法を変更する（測光）

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用してください。

撮影メニュー
測光
ホワイトバランス
連写
セットアップ
マルチ
スポット
アベレージ

設 定	説 明
マルチ	シーン自動認識により、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、マルチをおすすめします。
スポット	画面中央部の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。 • スポット測光時には、測光したい被写体を画面中央に配置して撮影してください。
アベレージ	画面全体を平均して測光します。

チェック

M 以外の撮影モード、または顔キレイナビが **ON** のときは、測光は設定できません。

色合いを調節する（WB ホワイトバランス）

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます（「ホワイトバランス」とは→ 101 ページ）。

設 定	説 明
AUTO	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、**AUTO** をおすすめします。
晴天	晴天の屋外での撮影用です。
日陰	曇天や日陰などでの撮影用です。
蛍光灯1	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
蛍光灯2	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
蛍光灯3	白色蛍光灯の下での撮影用です。
電球	電球、白熱灯の下での撮影用です。

人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO** の設定で望んだような結果が得られない場合は、光源に合ったホワイトバランスをお使いください。

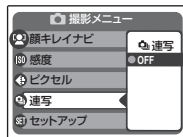
チェック

- **M** 以外の撮影モードでは、ホワイトバランスは設定できません。
- フラッシュ発光時のホワイトバランスはフラッシュ用の設定になります。光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを発光禁止に設定してください（→ 31 ページ）。
- 撮影環境によって撮影結果が変わります。撮影後は画像を再生して、色味を確認してください。

メニューを使いこなす

連続撮影する（連写）

連写にすると、シャッターボタンを押している間、最大３コマ連続して撮影します。動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。

撮影メニュー
顔キレイナビ
感度
ピクセル
連写
セットアップ
連写
OFF

チェック

- フラッシュは発光禁止になります。ただし、**連写**を **OFF** にすると、連写を設定する前のフラッシュ設定に戻ります。
- 連写速度は、シャッタースピードによって異なります。
- ピントと明るさは１コマ目を撮影したときに決定します。
- 撮影できる画像の枚数は、内蔵メモリーやメモリーカードの空き容量によって異なります。
- 画像の記録に時間がかかることがあります。
- 撮影後、液晶モニターに撮影結果が表示されます。

保存中

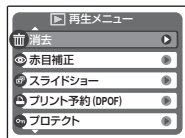
再生の設定を変える — 再生メニュー

スライドショーやプロテクト設定など、画像の再生時に使う機能を設定できます。

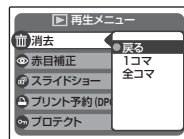
再生メニューの使い方

1 ▶ ボタンを押して再生モードに切り換えます。

2 **MENU/OK** ボタンを押して、再生メニューを表示します。

▶ 再生メニュー
- 消去
- 赤目補正
- スライドショー
- プリント予約 (DPOF)
- プロテクト

3 変更する項目を選びます。

4 設定の変更に移ります。

▶ 再生メニュー
- 消去：戻る／1コマ／全コマ
- 赤目補正
- スライドショー
- プリント予約 (DPOF)
- プロテクト

5 設定を変更します。

6 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

再生メニュー一覧

メニュー項目	機 能
消去	画像を1コマずつ消去したり、全コマまとめて消去できます(→44 ページ)。
赤目補正	顔キレイナビで撮影した画像の赤目を補正します(→71 ページ)。
スライドショー	画像を順番に自動再生します(→72 ページ)。
プリント予約(DPOF)	DPOF や PictBridge 対応のプリンターでプリントする画像を指定します(→62 ページ)。
プロテクト	誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトします(→73 ページ)。
画像コピー	内蔵メモリーとメモリーカード間で、画像をコピーします(→74 ページ)。
画像回転	画像を回転させます(→75 ページ)。
トリミング	必要な部分を切り抜いた画像のコピーを作ります(→76 ページ)。
セットアップ	カメラの基本的な設定を変えられます(→77 ページ)。

赤目画像を補正する（赤目補正）

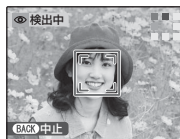
顔キレイナビ(→26 ページ)で撮影した画像(が表示されている画像）の赤目を補正できます。画像の再生時に赤目を補正したい画像を選んでから、再生メニューで **赤目補正**を選んでください。

補正 OK?
OK 実行　BACK やめる

1 **MENU/OK** ボタンを押して、赤目を補正します。

赤目検出してから、検出した赤目を補正します。

検出中
BACK 中止

補正中

2 赤目補正が完了すると、赤目補正した画像を別ファイルとして保存します。

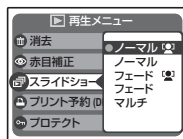
メニューを使いこなす

☛ チェック

- 顔が検出できないときや横顔の場合、赤目補正されません。また、被写体によっては、赤目補正できなかったり、補正した結果に差が生じることがあります。
- 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
- 他のカメラで撮影した画像（🎁 が表示されている画像）は、赤目補正できません。
- 赤目補正済みの画像（👁 が表示されている画像）は、それ以上赤目補正できません。

連続して再生する（スライドショー）

撮影した画像を順番に自動再生します。

- スライドショーの種類を指定して **MENU/OK** ボタンを押すと、スライドショーが開始します。
- 途中でスライドショーを中止するには、**MENU/OK** ボタンを押します。

メニュー項目	機 能
ノーマル フェード	◀ または ▶ でコマ送りができます。フェードを選択すると、画像がフェードアウトしながら切り替わります。
ノーマル 👤 フェード 👤	◀ または ▶ でコマ送りができます。顔キレイナビ（→ 26 ページ）で撮影した画像の場合は、検出した顔も拡大表示して再生します。
マルチ	複数コマを一度に再生できます。

メモ：ガイダンス

DISP/BACK ボタンを押すと、液晶モニターにガイダンスが表示されます。

☛ チェック

- 動画は自動的に再生が始まり、再生が終わると次の画像に進みます。
- スライドショー中は、自動電源 OFF しません。

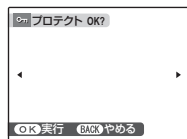
画像を保護する（ プロテクト）

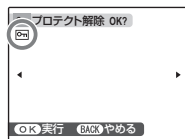
画像を誤って消去しないように、大切な画像にプロテクトを設定して保護できます。

■ 設定 / 解除

選んだ画像にプロテクトをかけたり解除したりします。

1 プロテクトする画像を選びます。

プロテクト OK?
OK実行 BACKやめる

プロテクトされていない画像

プロテクト解除 OK?
OK実行 BACKやめる

プロテクトされている画像

2 **MENU/OK** ボタンを押して、画像にプロテクトを設定します。

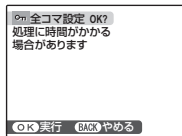
もう一度 **MENU/OK** ボタンを押すと、プロテクトを解除します。

3 手順1と2を繰り返して、必要に応じて他の画像にもプロテクト設定します。

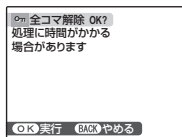
設定を終了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

■ 全コマ設定

MENU/OK ボタンを押すと、すべての画像がプロテクトされます。

全コマ設定 OK?
処理に時間がかかる場合があります
OK実行 BACKやめる

■ 全コマ解除

MENU/OK ボタンを押すと、すべての画像のプロテクト設定を解除します。

全コマ解除 OK?
処理に時間がかかる場合があります
OK実行 BACKやめる

画像の数が多いと、**全コマ設定**や**全コマ解除**に時間がかかることがあります。操作を中止するには、**DISP/BACK** ボタンを押してください。

BACK中止

注意

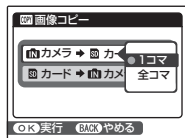
メモリーカードや内蔵メモリーをフォーマット（→ 81 ページ）すると、プロテクトした画像も消去されます。

画像をコピーする（COPY 画像コピー）

カメラの内蔵メモリーとカメラに装着したメモリーカード間で、画像をコピーすることができます。

1 **IN カメラ➡SD カード**または**SD カード➡IN カメラ**を選びます。

2 設定の変更に移ります。

COPY 画像コピー
IN カメラ ➡ SD カ… ● 1コマ
SD カード ➡ IN カメ… 全コマ
OK 実行 BACK やめる

3 **1コマ**または**全コマ**を選びます。

4 **MENU/OK** ボタンを押します。

■ 1コマコピーする（1コマ）

選択した画像をコピーします。

COPY このコマをコピー OK?
IN ➡ SD 100-0001
OK 実行 BACK やめる

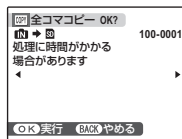
1 コピーする画像を選びます。

2 **MENU/OK** ボタンを押して、表示中の画像をコピーします。

3 手順1と2を繰り返して、必要に応じて他の画像もコピーします。
コピーを終了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

■ 全コマをコピーする（全コマ）

すべてのコマをコピーするには、**MENU/OK** ボタンを押します。
コピーを中止して終了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

COPY 全コマコピー OK?
IN ➡ SD 100-0001
処理に時間がかかる
場合があります
OK 実行 BACK やめる

注意

- コピー先の空き容量がなくなると、コピーを終了します。
- **プリント予約(DPOF)**(→ 62 ページ）していた画像をコピーした場合、プリント予約の設定はコピーされません。

メモ：メモリーカード間の画像のコピー

まず、**画像コピー**でメモリーカードから内蔵メモリーに画像をコピーします。その後、メモリーカードを交換して、内蔵メモリーの画像を新しいメモリーカードにコピーします。

画像を回転する（画像回転）

縦位置で撮った画像を、液晶モニターに縦位置で表示できるように回転させます。画像の再生時に回転したい画像を選んでから、再生メニューで **画像回転**を選んでください。

画像回転
▲ ▼
OK決定 BACKやめる

1 画像を回転させます。

▼ を押すと画像は時計回りに 90° 回転します。▲ を押すと反時計回りに 90° 回転します。

2 **MENU/OK** ボタンを押して決定します。

回転を取り消すには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

次回同じ画像を再生させると、自動的に回転して表示されます。

チェック

- プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転させてください (→73 ページ)。
- 他のカメラやパソコンで再生する場合は、画像は回転表示しません。

画像の一部を切り抜く（ トリミング）

撮影した画像の必要な部分をトリミングする（切り抜く）ことができます。画像の再生時にトリミングしたい画像を選んでから、再生メニューでトリミングを選んでください。

1 画像を切り抜きたい大きさに拡大します。

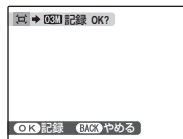
2 切り抜きたい部分に移動します。

トリミング
OK 実行　BACK 戻る

ナビゲーションで現在の表示位置がわかります。

トリミングを中止するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

→ 03M 記録 OK?
OK 記録　BACK やめる

トリミング後の記録画素数（5M、3M、2M または 03M →103 ページ）が液晶モニターに表示されます。

4 もう一度 **MENU/OK** ボタンを押すと、トリミングした画像を別ファイルとして保存します。

チェック

- 手順1での拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。記録画素数が 03M のときは、**OK 実行**が黄色で表示されます。元画像の**ピクセル**が 3:2 のときも、トリミングした画像の縦横比は、4 : 3 になります。
- 他のカメラで撮影した画像はトリミングできないことがあります。

カメラの設定を変える — セットアップメニュー

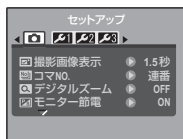
日時の設定、モニターの明るさなど、カメラの基本的な設定を変えられます。

セットアップメニューの使い方

1 **MENU/OK** ボタンを押して、メニューを表示します。

2 **SET セットアップ**を選びます。

▶ を押して、セットアップ画面を表示します。

セットアップ
撮影画像表示 1.5秒
コマNO. 連番
デジタルズーム OFF
モニター節電 ON

3 ページを選びます。

4 項目の選択に移動します。

セットアップ
フォーマット
言語/LANG. 日本語
自動電源OFF 2分
世界時計
ビデオ出力 NTSC

5 変更する項目を選びます。

セットアップ
フォーマット
言語/LANG. 日本語
自動電源OFF 2分
世界時計
ビデオ出力 NTSC

6 設定の変更に移ります。

セットアップ
フォーマット
言語/LANG.
自動電源OFF
世界時計
ビデオ出力
5分
2分
OFF

7 設定を変更します。

8 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

セットアップメニュー一覧

	メニュー項目	機能	設定	工場出荷時
📷	撮影画像表示	撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。また、拡大画面でピントの状態を確認できる**画像拡大チェック**も選べます (→79 ページ)。	**連続 /3 秒 / 1.5 秒 / 画像拡大チェック / OFF**	1.5 秒
	コマ NO.	コマ番号の付けかたを設定します (→79 ページ)。	**連番 / 新規**	**連番**
	デジタルズーム	デジタルズームを使用するかどうかを設定します (→ 80 ページ)。	ON/OFF	OFF
	モニター節電	カメラを操作していないときに自動的に液晶モニターの明るさを暗くします (→ 80 ページ)。	ON/OFF	ON
1	日時設定	日付と時刻を設定します。日時の設定方法については、「使用する言語と日時を設定する」の手順3以降をご覧ください (→ 20 ページ)。	—	—
	操作音量	ボタンなどを操作したときの音量を設定します。	大/中/小/OFF	中
	シャッター音量	シャッターを切るときの音量を設定します。	大/中/小/OFF	中
	再生音量	動画再生時の音量を設定します。(→ 80 ページ)	—	7
	モニター明るさ	液晶モニターの明るさを設定します (→ 80 ページ)。	—	0
2	フォーマット	内蔵メモリーまたはメモリーカードを初期化します(→ 81 ページ)。	—	—
	言語/LANG	液晶モニターに表示する言語を設定します。	日本語 /ENGLISH	日本語
	自動電源 OFF	何も操作していないときに、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定します (→ 81 ページ)。	5 分 /2 分 /OFF	2 分
	世界時計	時差を設定します (→ 82 ページ)。	🏠/✈	🏠
	ビデオ出力	ビデオ出力を **NTSC** にするか **PAL** にするかを設定します。日本国内で使用するときは、**NTSC** を選んでください。	NTSC/PAL	NTSC
3	リセット	**日時設定**、**世界時計**、**ビデオ出力**以外のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。▶ を押すと確認画面が表示されます。リセットするには、**実行**を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。	—	—

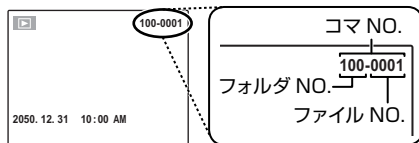
撮影画像表示

撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。また、拡大画面を表示してピントの状態を確認できる画像拡大チェックも選べます。

メニュー項目	機 能
連続	撮影直後に画像が表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、撮影画面に戻ります。
3秒	撮影直後、画像が約 3 秒または 1.5 秒間表示され、その後記録されます。表示される画像は、実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。
1.5 秒	
画像拡大チェック	撮影直後に画像が拡大表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、撮影画面に戻ります。再生時のズーム（拡大）操作については、41 ページをご覧ください。 • ピントが合っているか確認したいときに便利です。 • **連写**が **連写**のとき（→ 69 ページ）は、画像拡大チェックを設定できません。 • 顔キレイナビ（→ 26 ページ）を **ON** にして撮影したときは、検出した顔が拡大表示されます。▼ を押すと次の顔を表示します。
OFF	撮影直後に画像は表示されません。

コマ NO.

コマ NO. の付け方を設定します。コマ NO. とは、画像ファイル名に付けられた番号（フォルダ NO. +ファイル NO.）のことです。画像の再生中は、次の図のように、コマ NO. が表示されます。

100-0001
2050. 12. 31 10 : 00 AM
コマ NO.
100-0001
フォルダ NO.
ファイル NO.

メニュー項目	機 能
連番	メモリーカードまたは内蔵メモリー内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。**連番**に設定すると、ファイル名の重複を防ぐことができます。
新規	新しいメモリーカードを入れる度に、ファイル NO. が 0001 から付けられます。

チェック

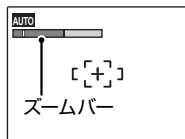
- **リセット**（→ 78 ページ）を行っても、コマ NO. はリセットされません。
- コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります（→ 98 ページ）。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。

デジタルズーム

ON にすると、光学ズームの望遠端（最大倍率）でズームレバーを [望遠マーク]（望遠）側に回すことにより、デジタルズームを使用できます。デジタルズームを解除するには、光学ズーム域に入るまで、ズームレバーを [広角マーク]（広角）側に回します。

AUTO

ズームバー

注意

デジタルズームを使うと、光学ズームに比べて画質が劣化します。

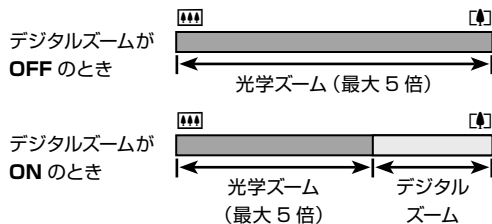
■ ズームバー表示

デジタルズームが **OFF** のとき

光学ズーム（最大 5 倍）

デジタルズームが **ON** のとき

光学ズーム（最大 5 倍）

デジタルズーム

モニター節電

ON にすると、10 秒間何も操作しないときに、自動的に液晶モニターが暗くなります。消費電力を抑えるため、バッテリーを長持ちさせられます。シャッターボタンを半押しすると再び明るくなります。

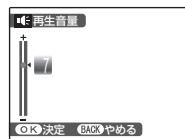
再生時や、動画の撮影時には液晶モニターは暗くなりません。

再生音量

動画の再生音量を設定できます。▲または▼を押して音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。

再生音量

7

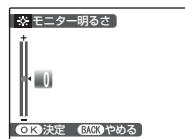
OK 決定　BACK やめる

モニター明るさ

▲または▼を押して液晶モニターの明るさを選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。

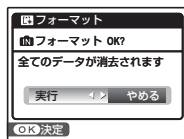
モニター明るさ

0

OK 決定　BACK やめる

メニューを使いこなす

フォーマット

カメラにメモリーカードが入っているときは、メモリーカードをフォーマットします。メモリーカードが入っていないとき（IN が表示されているとき）は、内蔵メモリーをフォーマットします。フォーマットを行うには、**実行**を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。

フォーマット
IN フォーマット OK?
全てのデータが消去されます
実行 ◀ ▶ やめる
OK 決定

注意

- フォーマットすると、プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。誤ってフォーマットすると元には戻せません。消去したくない画像は、パソコンにコピーしてください。
- フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。

自動電源 OFF（オートパワーオフ）

設定した時間（2 分間または 5 分間）カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。**OFF** を選ぶと、電源は自動的にオフにはなりません。バッテリーを長持ちさせたいときは、**自動電源 OFF** を **OFF** 以外に設定してください。**自動電源 OFF** の設定にかかわらず、プリンターやパソコンと接続しているときやスライドショーの再生中は電源はオフにはなりません。

メモ：再び電源をオンにするには

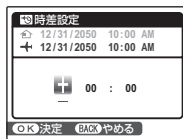
撮影するときは、**ON/OFF** ボタンを押します。再生するときは、▶ ボタンを約1秒押し続けます（→ 19 ページ）。

世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

1 ✈ **現地**を選びます。

2 時差設定に移ります。

時差設定
12/31/2050 10:00 AM
12/31/2050 10:00 AM
+ 00 : 00
OK 決定 BACK やめる

3 時差を設定します。

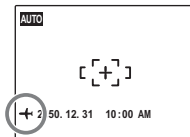
◀ または ▶ で「+」か「−」、時間、分を選び、▲ または ▼ を押して、設定を変更します。
時差は 15 分単位で設定できます。

4 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

5 現地時間とホームの時間を切り換えます。

カメラの時計をお住まいの地域の時間に戻すには、世界時計画面で **ホーム**を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。現地時間にするには、✈ **現地**を選びます。

✈ **現地**を選ぶと、メニューから撮影画面に戻るたびに、液晶モニターに ✈ と日付が約 3 秒間黄色で表示されます。

AUTO
✈ 2050. 12. 31 10:00 AM

旅行先から戻ったら、世界時計の設定を必ず **ホーム**に戻して、日時を再確認してください。

メニューを使いこなす

カメラで使えるアクセサリー

別売アクセサリー

(2008 年 8 月現在)

このカメラは、さまざまな富士フイルムおよび他社製品に対応しています。

DIGITAL CAMERA
FINEPIX J100
FINEPIX J120
FINEPIX J110w
FINEPIX J150w

テレビで見る

専用A/Vケーブル(付属品)で接続

モニターテレビ(市販品)

パソコンに接続して画像を保存する

※パソコンで動画再生をするには、DirectX8.0ランタイム(Windowsの場合)が必要です。また、動画ファイルをハードディスクにコピーしてから再生してください。

USBケーブル(付属品)で接続

パーソナルコンピューター(市販品)

SDカードスロットまたはカードリーダーで接続

SD/SDHCメモリーカード(市販品)

プリントする

USBケーブル(付属品)で接続

PictBridge

ピクトブリッジ対応プリンター(市販品)

DPE

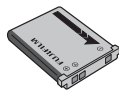
FUJICOLOR デジカメプリント
デジタルカメラプリントサービス(FDiサービス)取扱店

手軽に高画質プリントができる
フジカラーデジカメプリントサービス(FDiサービス)
詳細は http://fujicolorprint.jp をご覧ください。

プリンター(市販品)

別売アクセサリー一覧

このカメラでは、次の富士フイルム製別売アクセサリーを使用できます（2008 年 8 月現在）。

充電式バッテリー NP-45：リチウムイオンタイプの薄型充電式電池です。	
AC パワーアダプター AC-5VX：長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時にお使いください（AC100V ～ 240V、50/60Hz 対応）。 このカメラでご使用になる場合は、必ず DC カプラー CP-45 と併用してお使いください。	
DC カプラー CP-45：長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時に AC パワーアダプターと併用してお使いください。	

※ 最新情報については、富士フイルムホームページ（http://fujifilm.jp/）をご覧ください。

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。
・ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
・お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。	
⚠ 警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。	
⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
🚫	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警 告

電源プラグを抜く
異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーやACパワーアダプターを外す。
煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
・お買上げ店にご相談ください。

水ぬれ禁止
内部に水や異物を落とさない。
水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーやACパワーアダプターを外す。
そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。
・お買上げ店にご相談ください。

風呂、シャワー室での使用禁止
風呂、シャワー室では使用しない。
火災・感電の原因になります。

分解禁止
分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。落としたり、ケースが破損したときは使用しない。
火災・感電の原因になります。
・お買上げ店にご相談ください。

接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。
コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。
・コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。

不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。

移動中の使用はしない。
歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。
転倒、交通事故などの原因になります。

雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。
落雷すると誘電雷により感電の原因になります。

指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。
バッテリーは極性（⊕⊖）表示どおりに入れてください。

電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。
電池・バッテリーを落としたり、衝撃を加えない。
リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。
電池・バッテリーをショートさせない。
電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。
バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。
電池・バッテリーの破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。

⚠ 警 告

指定外の電池・バッテリーやACパワーアダプターを使用しない。
表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。
火災の原因になります。

バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。

充電器で指定外の電池を充電しない。
他の充電式電池を充電すると、液もれ、発熱、破裂の原因になります。

バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはる。
他の金属物と混じると発火、破裂の原因となります。

メモリーカードは、乳幼児に触れさせないこと。
メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注 意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。
火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。

小さいお子様の手の届くところに置かない。
けがの原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない。
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

ACパワーアダプターを接続したまま移動しない。ACパワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。
電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
火災・感電の原因になることがあります。

本機やACパワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。
火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグを抜く
充電終了後は充電器をコンセントから抜く。
コンセントにつけたままにしておくと火災の原因となることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光させない。
一時的に視力に影響することがあります。
特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。

メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。
飛び出したカードが当たり、けがの原因になることがあります。

定期的な内部点検・清掃を依頼する。
本機の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。
・2 年に 1 度くらいは、内部清掃をお買上げ店にご依頼ください。

電源についてのご注意

※ ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液もれ、発熱・発火の恐れがあります。

※ バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

※ バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

■バッテリーの特性

- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1 ～ 2 日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しない場合があります。

■充電について

- 付属の充電器を使用して充電できます。充電は周囲の温度が 0℃～＋ 40℃の範囲で可能です。充電時間については、カメラ本体の使用説明書をご参照ください。
- 充電は＋ 10℃～＋ 35℃の温度範囲で行ってください。＋ 10℃～＋ 35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。
- 0℃以下の温度では充電できません。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約 300 回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

■保存上のご注意

- 充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。周囲の温度が＋ 15℃～＋ 25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。
- 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

危険ですので、次のことにご注意ください

バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。

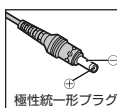
火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。

分解したり、改造したりしないでください。

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生には AC パワーアダプターをお使いください。

■小形充電式電池のリサイクルについて

小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。詳細は、「有限責任中間法人 JBRC」のホームページをご参照ください。http://www.jbrc.net/hp/

■AC パワーアダプターについてのご注意

極性統一形プラグ

必ず専用の AC パワーアダプター（別売、JEITA 規格、極性統一形プラグ付き）をお使いください。弊社専用品以外の AC パワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因となることがあります。AC パワーアダプターに関しての詳細は、84 ページをご参照ください。

- 室内専用です。
- DC 入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- DC 入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- AC パワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- 使用中、AC パワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発信音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

ご注意：CD-ROMのパッケージ開封前に必ずお読みください。

富士フイルム株式会社がお客様に提供するCD-ROMのパッケージ開封前に必ず本ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。お客様は、本ソフトウェア使用許諾契約書に同意された場合にのみ、CD-ROMに記録されたソフトウェアを使用できます。お客様がCD-ROMのパッケージを開封された場合、お客様は本ソフトウェア使用許諾契約書に同意されたものとみなします。

ソフトウェア使用許諾契約書

お客様と富士フイルム株式会社（以下富士フイルムといいます）は、富士フイルムがお客様に提供するCD-ROMに記録されたソフトウェアの使用につき、以下のとおり契約します。富士フイルム以外の事業者のソフトウェアで、本契約とは別の使用許諾契約が付されたソフトウェアの使用については、当該使用許諾契約の規定が本契約に優先するものとします。

1. 定義

（1）本CD-ROMとは、富士フイルムがお客様に提供するCD-ROM「Software for FinePix」を指します。

（2）本ソフトとは、富士フイルムがお客様に提供する、本CD-ROMに記録されたソフトウェアを指します。

（3）関連資料等とは、富士フイルムがお客様に提供する本ソフトの使用説明書その他本ソフトに関する資料を総称して指します。

（4）本製品とは、富士フイルムが提供する本CD-ROMと関連資料等を総称して指します。

2. 使用権の許諾

富士フイルムはお客様に対し、本ソフトに関する以下の非独占的、譲渡不能の権利を許諾します。

① 機械読み取り可能な形式で、1台のコンピュータに本ソフトをインストールし、使用する権利

② バックアップ目的にて本ソフトを1部に限り複製する権利

3. 禁止事項

（1）お客様は富士フイルムの事前の書面による承諾なく、本ソフト、本CD-ROMおよび関連資料等の第三者への譲渡、貸与または占有の移転その他の処分をし、また富士フイルムより許諾された権利を第三者に再許諾等してはいけません。

（2）お客様は、本契約にて明示的に認められた場合を除き、本ソフトおよび関連資料等を複製してはいけません。

（3）お客様は、本ソフトおよび関連資料等を改変・変更・翻案し、また本ソフトおよび関連資料等に付された著作権表示その他財産権の表示を削除してはいけません。

（4）お客様は、本ソフトのリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをしてはいけません。また第三者をしてこれらの行為をさせてはいけません。

4. 著作権その他の知的財産権

本ソフトおよび関連資料等に関する著作権その他の知的財産権は、富士フイルムまたは本ソフトおよび関連資料等に記載された権利者に帰属します。本契約によりお客様に許諾された場合を除き、明示または黙示を問わずいかなる権利もお客様に譲渡されまたは許諾されません。

5. 保証および免責

（1）お客様が本製品をお買上げ後90日以内に本CD-ROMに読み取り不能等の物理的欠陥が見つかった場合、富士フイルムは無償にて良品と交換します。

（2）本製品による第三者の著作権その他知的財産権の侵害の有無に関し、富士フイルムは何ら保証を行わないものとし、本製品の使用による第三者の著作権その他知的財産権の侵害およびそれによって生じるすべての損害につき、富士フイルムは一切責任を負いません。

（3）本製品は提供時の状態のままお客様に提供されるものです。富士フイルムは、第（1）項に定めるほか、商品性の保証、特定目的への適合性その他本製品につき、一切保証しません。

6. 責任の制限

富士フイルムは、「5. 保証および免責」に明記されている場合を除き、いかなる場合においても、本製品の使用や使用不能から生じる損害（逸失利益、付随的、特別あるいは結果的な損害を含みますがこれに限りません）について一切責任を負いません。

7. 輸出関連法の遵守

お客様は、本ソフトを日本国の「外国為替及び外国貿易法」その他の輸出規制関連法に違反して日本国外に持ち出す等の行為を行ってはなりせん。

8. 解除

お客様が本契約に違反した場合は、富士フイルムは何らの通知・催告をすることなく直ちに本契約を解除することができます。

9. 契約期間

本契約は、お客様が本ソフトの使用を開始した日に発効し、「8. 解除」に基づき本契約が解除され、またはお客様が本ソフトの使用を終了するときまで有効とします。

10. 契約終了後の義務

本契約が終了した場合、お客様はお客様の責任にて本ソフト（複製物を含む）、本CD-ROMおよび関連資料等をすべて消去・廃棄するものとします。

ソフトウェアに関するご注意

⚠ 本製品に同梱されているCD-ROMを音楽用CDプレーヤーにかけないでください。耳に障害を負う恐れや、スピーカー、イヤホンなどを破損する恐れがあります。

■使用説明書について

使用説明書はパーソナルコンピュータ（以下パソコンといいます）とWindows、Macintoshの使用方法に関する基本的な知識をお持ちになっていることを前提として書かれています。パソコンとWindows、Macintoshの使用方法については、それぞれに付属のマニュアルをご覧ください。表示される画面やメニューが使用説明書と異なる場合がありますがご了承ください。

カメラをお使いになる前のご注意

ご使用になる前に必ず「安全上のご注意」をお読みください。

■撮影の前には試し撮りをしましょう

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※ 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■商標について

- xD-ピクチャーカード™は富士フイルム（株）の商標です。
- Macintosh、iMac、iBook、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows®Operating Systemです。
- SDHCロゴは商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上のご注意

■避けて欲しい保存場所

次のような場所での本機の使用･保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水、浸水、砂かぶりにご注意

水や砂は本機の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本機を置かないでください。水や砂が本機の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本機を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

■カメラのお手入れ

- レンズ、液晶モニター表面などの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- レンズ、液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

メモリーカード / 内蔵メモリについてのご注意

■メモリーカード取扱上のご注意

- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- 強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■内蔵メモリーについて

- 内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。大切なファイルは別のメディア（ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。
- 修理にお出しになった場合、内蔵メモリー内のデータについては保証できません。
- カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

■メモリーカード、または内蔵メモリーをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのメモリーカード、または内蔵メモリーを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。パソコンでメモリーカード、または内蔵メモリーのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカード、または内蔵メモリーがカメラで使用できなくなることがあります。
- 画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

トラブルシューティング /FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

■ 電源とバッテリー

<table>
<tr><th colspan="2">症 状</th><th>ここをチェック!</th><th>処 置</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="9">バッテリー、電源について</td><td rowspan="4">ON/OFF（電源）ボタンを押しても電源がオンになりません。</td><td>バッテリーが消耗していませんか?</td><td>充電するか、充電済みのバッテリーを使ってください。</td><td>13、15</td></tr>
<tr><td>バッテリーを正しい向きで入れていますか?</td><td>バッテリーを正しい方向で入れ直してください。</td><td>15</td></tr>
<tr><td>バッテリーカバーはきちんと閉まっていますか?</td><td>バッテリーカバーをしっかり閉めてください。</td><td>15</td></tr>
<tr><td>AC パワーアダプターや DC カプラーが正しく接続されていますか?</td><td>AC パワーアダプターや DC カプラーをつなぎ直してください。</td><td>—</td></tr>
<tr><td rowspan="3">バッテリーの減りが早いです。</td><td>非常に寒いところでカメラを使っていませんか?</td><td>バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。</td><td>86</td></tr>
<tr><td>バッテリーの端子が汚れていませんか?</td><td>バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布で拭いてください。</td><td>—</td></tr>
<tr><td>同じバッテリーを長期間使っていませんか?</td><td>バッテリーの寿命の可能性があります。新品のバッテリーと交換してください。</td><td>—</td></tr>
<tr><td rowspan="2">使用中に電源がオフになってしまいました。</td><td>バッテリー残量が少なくなっていませんか?</td><td>充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。</td><td>13、15</td></tr>
<tr><td>AC パワーアダプターや DC カプラーが正しく接続されていますか?</td><td>AC パワーアダプターや DC カプラーをつなぎ直してください。</td><td>—</td></tr>
<tr><td rowspan="5">充電について</td><td rowspan="2">充電が開始されません。</td><td>バッテリーは入っていますか?</td><td>バッテリーを入れてください。</td><td>15</td></tr>
<tr><td>バッテリーは正しい向きで入っていますか?</td><td>バッテリーを正しい方向で入れ直してください。</td><td>15</td></tr>
<tr><td>充電に時間がかかりすぎます。</td><td>非常に寒いところで充電を行っていませんか?</td><td>低温時は、充電時間が長くなるときがあります。</td><td>—</td></tr>
<tr><td rowspan="2">充電中に充電ランプが点滅して充電できません。</td><td>バッテリーの端子が汚れていませんか?</td><td>バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください。</td><td>—</td></tr>
<tr><td>バッテリーの寿命または故障の可能性があります。</td><td>新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。</td><td>—</td></tr>
</table>

■ メニューなどの設定時

症 状	ここをチェック!	処 置	ページ
メニューが英語で表示されています。	セットアップメニューの **言語/LANG** が **ENGLISH** になっていませんか?	言語設定を**日本語**にしてください。	77、78

■ 撮影時

症 状		ここをチェック!	処 置	ページ
基本撮影について	シャッターボタンを押しても撮影できません。	撮影可能枚数が0になっていませんか?	新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。	16、44
		メモリーカードはこのカメラでフォーマットされていますか?	カメラでフォーマットしてください。	81
		メモリーカードの接触面(金色の部分)が汚れていませんか?	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布で拭いてください。	—
		メモリーカードが壊れている可能性があります。	新しいメモリーカードを入れてください。	16
		バッテリー残量が少なくなっていませんか?	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	13、15
		電源がオフになっていませんか?	電源をオンにしてください。	19
	撮影後、映像が消えて黒い画面になりました。	フラッシュ撮影しましたか?	フラッシュを充電するために黒い画面になることがありますので、そのままお待ちください。	31
ピントについて	ピントを合わせられません。	近距離のものを撮影しようとしていませんか?	マクロを設定してください。	30
		マクロのまま、遠くのものを撮影しようとしていませんか?	マクロを解除してください。	
		オートフォーカスの苦手な被写体(→ 30 ページ)を撮影しようとしていませんか?	AF/AE ロック撮影してください。	28

症 状		ここをチェック!	処 置	ページ
顔キレイナビ（顔検出機能）について	顔キレイナビ（顔検出機能）が設定できません。	撮影モードが 、、、、TEXT に設定されていませんか?	撮影モードを変更してください。	35
	顔を検出できません。	サングラス、帽子や前髪などで顔の一部が隠れていませんか?	なるべく顔の全体が見えるようにしてください。	26
		撮影したい人物の顔が、構図内で小さすぎませんか?	顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
		人物の顔が横向きまたは斜めに傾いていませんか?	顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。	
		カメラが傾いていませんか?	カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。	22
		人物の顔が暗くないですか?	できるだけ明るい条件で撮影してください。	—
	ピントを合わせたい顔にピントが合いません。	複数の顔が検出されているときに、中央付近にない顔にピントを合わせようとしていませんか?	合わせたい顔が画面の中央に来るように構図を変えてください。構図を変えたくない場合は、顔キレイナビを使わずに AF/AE ロック撮影してください。	28
マクロ（近距離）について	マクロ（近距離）が設定できません。	撮影モードが 、、、、、、、、、、 に設定されていませんか?	撮影モードを変更してください。	35

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
フラッシュについて	フラッシュが発光しません。	フラッシュ充電中に撮影しませんでしたか？	フラッシュの充電が完了してからシャッターボタンを押してください。	24
		撮影モードが になっていませんか？	撮影モードを変更してください。	35
		バッテリー残量が少なくなっていませんか？	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	13、15
		連写が設定されていませんか？	**連写**を **OFF** に設定してください。	69
		フラッシュの設定が （発光禁止）になっていませんか？	フラッシュを 以外に設定してください。	31
	使いたいフラッシュ設定を選べません。	撮影モードが になっていませんか？	撮影モードを変更してください。	35
	フラッシュが発光したのに撮影した	被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。	105
		フラッシュを指などでふさいでいませんか？	カメラを正しく構えてください。	22
撮影した画像の異常について	画像がぼやけています。	レンズに指紋などの汚れがついていませんか？	レンズを清掃してください。	89
		レンズに指などがかかっていませんか？	レンズに指がかからないようしてください。	22
		撮影時に AF フレーム（赤点灯）と !AF が表示されていませんでしたか？	しっかりとピントを合わせてから撮影してください。	23、28
		撮影時に が表示されていませんでしたか？	手ブレの可能性があります。フラッシュ撮影をするか、三脚を使用してください。	31
	画像に点状のノイズがあります。	気温の高いところでスローシャッター（長時間露光）撮影しませんでしたか？	CCD の特性によるもので、故障ではありません。	—
画像の記録について	撮影した画像や動画が記録されません。	カメラの電源がオンになっているときに AC パワーアダプターの接続や取り外しをしませんでしたか？	AC パワーアダプターや DC カプラーの接続および取り外しはカメラの電源がオフになっているときに行ってください。メモリーカードの破損、パソコン接続時の誤作動の原因になります。	—

困ったときは

■ 再生時

症 状		ここをチェック!	処 置	ページ
1 コマ再生について	画像が粗く表示されます。	他のカメラで記録した画像ではありませんか?	他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。	—
	拡大表示できません。	**ピクセル**を 03M にして撮影した画像ではありませんか?	**ピクセル**を 03M にして撮影した画像は、再生ズームができません。	41
		他のカメラで記録した画像ではありませんか?	他のカメラで記録した画像は再生ズームができないことがあります。	—
動画の再生について	カメラから音が出ません。	カメラの再生音量の設定が小さくなっていませんか?	再生音量を調節してください。	80
		撮影中にマイクを手などでふさいでいませんでしたか?	撮影時はマイクをふさがないでください。	46
		再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか?	再生中はスピーカーをふさがないでください。	48
消去について	選択した画像を消去できません。	プロテクトされていませんか?	プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行なったカメラをお使いください。	73
	全コマ消去したのに画像が残っています。			
コマ NO. について	コマ NO. の連番が機能しません。	バッテリーやメモリーカードを交換するときに電源をオフにしないでバッテリーカバーを開けませんでしたか?	バッテリーやメモリーカード を交換するときは、必ず電源をオフにしてください。電源がオンのままバッテリーカバーを開けると、コマ NO. の連番が機能しないことがあります。	79

■ 接続時

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
テレビとの接続について	テレビに画像、音声が出ません	カメラとテレビが正しく接続できていますか？	確認して正しく接続し直してください。	49
		動画再生中に専用 A/V（音声 / 映像）ケーブルを接続しませんでしたか？	動画再生をいったん停止させてから接続し直してください。	48、49
		テレビの入力が「テレビ」になっていませんか？	テレビの入力を「ビデオ」にしてください。	―
		セットアップメニューの**ビデオ出力**が **PAL** になっていませんか？	日本国内で使用する場合は **NTSC** にしてください。	78
		テレビの音量が小さくなっていませんか？	テレビの音量を調節してください。	―
	テレビの画像が黒白になってしまいました。	セットアップメニューの**ビデオ出力**が **PAL** になっていませんか？	日本国内で使用する場合は **NTSC** にしてください。	78
パソコンとの接続について	パソコンがカメラを認識しません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	56
プリンターとの接続について	接続したのにプリントできません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	58
		プリンターの電源は入っていますか？	プリンターの電源を入れてください。	―
	1 枚ずつしかプリントされません。	PictBridge 対応のプリンターでプリントしていますか？	プリンターの仕様やプリントサービスによっては、各画像を1枚ずつしかプリントできないことがあります。また、日付が入らないことがあります。	―
	日時が印字されません。			

■ その他

症 状		ここをチェック!	処 置	ページ
カメラの動作などについて	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリー、AC アダプターや DC カプラーをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。	15
		バッテリーの消耗が原因として考えられます。	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	13、15
	カメラが正常に作動しなくなってしまいました。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリー、AC アダプターや DC カプラーをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。	15、112

警告表示

液晶モニターに表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処 置
(赤点灯)	バッテリーの残量が少なくなっています。	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。
(赤点滅)	バッテリーの残量がありません。	
	シャッタースピードが遅く、手ブレを発生しやすい状態です。	フラッシュ撮影してください。ただし撮影シーンやモードによっては、三脚のご使用をおすすめします。
!AF （赤点灯） AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	• AF/AE ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください (→ 28 ページ)。 • 暗い場合は被写体から 2m 程度離れて撮影してください。 • 近距離撮影の場合は、 マクロを設定してください。
!AE （赤点灯）	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。
フォーカスエラー	カメラが誤作動または故障しています。	• レンズ部に触れずに、電源を入れ直してください。 • 電源のオン / オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
ズームエラー		
カードがありません	メモリーカードが入っていない状態で再生メニューの**画像コピー**を選びました。	カメラにメモリーカードを入れてください。
フォーマットされていません	メモリーカードまたは内蔵メモリーがフォーマットされていません。	メモリーカードまたは内蔵メモリーをカメラでフォーマットしてください (→ 81 ページ)。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります (→ 81 ページ)。それでも警告表示が消えない場合は メモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

警告表示	警告内容	処 置
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください(→ 81 ページ)。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります（→ 81 ページ)。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	メモリーカードが壊れています。	
空き容量がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに空き容量がないため、画像を記録 / コピーできません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
空き容量がありません		
メモリーがいっぱいです カードを入れてください		
記録できませんでした	メモリーカードとカメラ本体の接触異常またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直すか電源のオン / オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードまたは内蔵メモリーがフォーマットされていません。	メモリーカードまたは内蔵メモリーをカメラでフォーマットしてください (→ 81 ページ)。
プロテクトされたカードです	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください (→ 17 ページ)。
動画記録できません	パソコンでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください（→ 81 ページ)。
コマ NO. の上限です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、セットアップメニューの **コマ No.** を**新規**に設定します。撮影すると、コマ No. が「100-0001」から付けられます。**コマ No.** を**連番**に戻すと、引き続き撮影できます。

警告表示	警告内容	処 置
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとしました。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとしました。	このファイルは再生できません。
	メモリーカード の接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります（→ 81 ページ）。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
枚数制限をこえています	5000 枚以上の画像を日付再生しようとしました。	5000 枚以上の画像は日付再生できません。
プロテクトされています	• プロテクトされているファイルを消去しようとした。 • プロテクトされているファイルを回転しようとした。	プロテクトしたファイルは消去 / 回転できません。プロテクトを解除してください（→ 73 ページ）。
SD 画像がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像がないときに、メモリーカードまたは内蔵メモリーへ画像をコピーしようとしました。	コピーする画像がないため、画像をコピーすることはできません。
IN 画像がありません		
03M トリミングできません	0.3M の画像をトリミングしようとしました。	これらの画像はトリミングできません。
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとしました。	
これ以上予約できません	DPOF のコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。別のメモリーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
設定できません 設定できません	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとしました。	—
回転できません 回転できません	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとしました。	—
実行できません 実行できません	赤目補正できない画像、または動画を赤目補正しようとしました。	—

困ったときは

警告表示	警告内容	処 置
接続できませんでした	パソコンまたはプリンターとの通信ができませんでした。	• パソコンまたはプリンターの電源が入っているか確認してください。 • パソコンまたは USB ケーブルの接続を確認してください。
プリンターエラー	用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。	• プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。 • プリンターの電源をいったん切ってから、再び入れてください。 • お使いのプリンターの使用説明書をお読みください。
プリンターエラー 再開しますか?	用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。	プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。プリンターエラーを解消すると自動的にプリントが再開されます。確認後もエラーメッセージが消えない場合は **MENU/OK** ボタンを押して、プリントを再開してください。
プリントできません	他のカメラで撮影した画像またはプリンターが画像フォーマットに対応していない画像をプリントしようとしました。	• お使いのプリンターの使用説明書をご覧になり、プリンターが JFIF-JPEG、Exif-JPEG 形式の画像フォーマットに対応しているかご確認ください。対応していない場合はプリントできません。 • このカメラで撮影したデータですか? このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。
プリントできないコマです	他のカメラで撮影した画像（ ）または動画をプリントしようとしました。	• 動画はプリントできません。 • このカメラで撮影したデータですか? このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。

資料集

用語の解説

DPOF（ディーポフ）: Digital Print Order Format の略。デジタルカメラで撮影した画像の中からプリントしたいコマや枚数などの「プリント予約」情報を、内蔵メモリーまたはメモリーカードに記録するフォーマットです。

DPOF™

EV：露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムや CCD などの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することにより CCD に与える光量を一定にしています。CCD に与えられる光量が 2 倍になると EV 値は＋ 1、半分になると EV 値は－ 1 変化します。

Exif（イグジフ）ファイル形式：Exif（イグジフ）は、電子情報技術産業協会（JEITA）にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFF や JPEG との互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。さらにフォルダ構造、フォルダ名についての規定を含めて、DCF が JEITA 規格になっています。

JPEG：Joint Photographic Experts Group の略で、もとは画像圧縮の標準化を推進している組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。

Motion JPEG（モーション ジェイペグ）: 動画の圧縮方式 AVI（Audio Video Interleave）形式の 1 種です。ファイル内の画像は JPEG 形式で記録されています。
パソコンでは下記のソフトで再生できます。
- **Windows**：Windows Media Player（DirectX8.0 以降）
- **Macintosh**：QuickTime Player（QuickTime3.0 以降）

スミア：撮影画面内に太陽やその反射光など非常に明るい輝点があるときに、画像に白いスジが写る CCD 特有の現象です。

デジタルズーム：レンズを動かすことで、被写体を拡大して撮影する光学ズームとは異なり、カメラの内部処理で被写体を大きく見せて撮影する機能です。光学ズームと併用すると、より大きく撮影することができますが、撮影された画像の画質は劣化します。

ホワイトバランス：人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。

各撮影モードで使用できるフラッシュ設定

撮影メニューの ☺ **顔キレイナビ** （→ 26 ページ）と、撮影モード（→ 35 ページ）の設定により、使用できるフラッシュの設定は異なります。

■ ☺ 顔キレイナビが ☺ON 👁OFF または OFF

	撮影モード																		
フラッシュ設定	📷	☺	👥	👁[1]	🔍	👤	▲	🏃	☾	N	🏖	☃	✺	🌅	✻	🍸	♪OFF	TEXT	📷M
AUTO	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○
⚡	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	×	×	○	○
⊘⚡	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
S⚡	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○

1 赤目軽減機能は自動的に ON になります（以下参照）。

■ ☺ 顔キレイナビが ☺ON 👁ON

	撮影モード																		
フラッシュ設定	📷	☺	👥	👁	🔍	👤	▲[2]	🏃[2]	☾	N	🏖	☃	✺[2]	🌅	✻[2]	🍸	♪OFF	TEXT[2]	📷M
👁AUTO	○	×	○	○	○	○	−	−	×	×	○	○	−	×	−	○	×	−	○
👁⚡	○	×	○	○	○	○	−	−	×	×	○	○	−	○	−	×	×	−	○
⊘⚡	○	○	○	×	○	○	−	−	○	○	○	○	−	○	−	×	○	−	○
👁SLOW	×	×	×	○	×	○	−	−	○	×	×	×	−	×	−	×	×	−	○

2 赤目軽減機能（☺（顔キレイナビ）ON 👁（補正）ON）は使用できません。

メモリーカード、内蔵メモリーの標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数及び撮影時間の枚数は目安です。実際の撮影枚数及び撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数·時間は規則正しく減少しないことがあります。

ピクセル		10M F	10M N	3:2	5M	3M	2M	03M	640 (30 フレーム／秒)	320 (30 フレーム／秒)
記録画素数		3648 × 2736 (約 998 万)		3648 × 2432 (約 887 万)	2592 × 1944 (約 504 万)	2048 × 1536 (約 315 万)	1600 × 1200 (約 192 万)	640 × 480 (約 31 万)	640 × 480	320 × 240
画像一枚のファイルサイズ		4.9MB	2.5MB	2.2MB	1.3MB	789KB	631KB	134KB	—	—
内蔵メモリー (約 24MB)		4	9	10	18	30	37	169	29 秒	53 秒
SDメモリーカード	512MB	100	200	220	390	610	770	3430	9 分	17 分
	1GB	200	400	450	780	1230	1540	6880	19 分	35 分
	2GB	400	800	890	1540	2470	3090	12390	39 分	71 分
SDHCメモリーカード	4GB	810	1610	1790	3100	4960	6200	24820	79 分	143 分
	8GB	1620	3230	3600	6220	9950	12440	47130	160 分	288 分

- 動画を連続して記録する場合、約 2GB で自動的に撮影停止します。停止後に続けて撮影したい場合は、再度シャッターボタンを押してください。記録可能時間表示は約 2GB で計算されます。

主な仕様

システム	
型番	FinePix J100、FinePix J110w、FinePix J120、FinePix J150w
有効画素数	1000 万画素
撮像素子	1/2.3 型正方画素 CCD 原色フィルター採用
記録メディア	• 内蔵メモリー（約 24MB） • SD/SDHC メモリーカード（弊社推奨品）
記録方式	• **静止画**　DCF 準拠 圧縮：Exif Ver.2.2　JPEG 準拠 /DPOF 対応 • **動画**　DCF 準拠（AVI 形式 Motion JPEG）
記録画素数（ピクセル）	• 10M F 3648 × 2736 • 10M N 3648 × 2736 • 3:2 3648 × 2432 • 5M 2592 × 1944 • 3M 2048 × 1536 • 2M 1600 × 1200 • 03M 640 × 480
ファイルサイズ	別表に記載（→ 103 ページ）
レンズ	• **FinePix J100/J120**：**名称**　フジノン光学式 5 倍ズームレンズ **焦点距離**　f=6.3mm ～ 31.5mm（35mm フィルム換算：約 35mm ～約 175mm 相当 / ＜ 3:2（3：2）＞約 36.4 mm～ 182 mm相当）、**開放 F 値**　F3.3（広角）～ F5.1（望遠） • **FinePix J110w/J150w**：**名称**　フジノン光学式 5 倍ズームレンズ **焦点距離**　f=5.1mm ～ 25.5mm（35mm フィルム換算：約 28mm ～約 140mm 相当 / ＜ 3:2（3：2）＞約 29.1 mm～ 145.6 mm相当）、**開放 F 値**　F3.3（広角）～ F5.1（望遠）
デジタルズーム	約 5.7 倍（光学 5 倍ズームと併用　最大約 28.5 倍）
絞り	• **FinePix J100/J120**：［広角］F3.3/F5.1、［望遠］F5.1/F8.0 • **FinePix J110w/J150w**：［広角］F3.3/F5.2、［望遠］F5.1/F8.0
撮影可能範囲（レンズ先端面からの距離）	• **FinePix J100/J120**　**標準**：［広角］約 60cm ～∞、［望遠］約 1.5m ～∞ **マクロ**：［広角］約 5cm ～ 80 cm、［望遠］約 1m ～ 2m • **FinePix J110w/J150w**　**標準**：［広角］約 60cm ～∞、［望遠］約 1.2m ～∞ **マクロ**：［広角］約 5cm ～ 80 cm、［望遠］約 80cm ～ 1.5m
撮影感度	AUTO、ISO 64/100/200/400/800/1600/3200（最大記録画素数 3M）（標準出力感度）
測光方式	TTL256 分割測光（マルチ / スポット / アベレージ）
露出制御	プログラム AE
露出補正	－ 2EV ～ +2EV、1/3EV ステップ（M 時）
シーンポジション	人物、デジタルズーム、赤目軽減、ベビー、（風景）、（スポーツ）、（夜景）、（ナチュラルフォト）、（ビーチ）、（スノー）、（花火）、（夕焼け）、（花の接写）、（パーティー）、（美術館）、TEXT（文字の撮影）

システム	
ブレ軽減モード	あり
顔キレイナビ（顔検出機能）	あり
シャッタースピード	1/4 秒～ 1/2000 秒（AUTO モード）、8 秒～ 1/2000 秒（全モード合わせて） メカニカルシャッター併用
連写	連写速度：約 1.7 コマ / 秒、最大 3 コマ
フォーカス	・**モード**　シングル AF　・**AF 方式**　TTL コントラスト AF ・**AF フレーム選択**　センター固定
ホワイトバランス	シーン自動認識オート / プリセット（晴天 / 日陰 / 昼光色蛍光灯 / 昼白色蛍光灯 / 白色蛍光灯 / 電球）
セルフタイマー	約 10 秒 / 約 2 秒
フラッシュ	**方式**　CCD 調光によるオートフラッシュ **撮影可能範囲（感度：ISO400 時）** ・FinePix J100/J120　**標準**：［広角］約 60cm ～ 3m、［望遠］約 1.5m ～ 1.9m **マクロ**：［広角］約 30cm ～ 80 cm、［望遠］約 1m ～ 1.9m ・FinePix J110w/J150w　**標準**：［広角］約 60cm ～ 3m、［望遠］約 1.2m ～ 1.9m **マクロ**：［広角］約 30cm ～ 80 cm、［望遠］約 70cm ～ 1.5m
フラッシュ発光モード	**赤目補正 OFF 時**：オート / 強制発光 / 発光禁止 / スローシンクロ **赤目補正 ON 時**：赤目軽減オート / 赤目軽減 ＋ 強制発光 / 発光禁止 / 赤目軽減+スローシンクロ
液晶モニター	・FinePix J100/J110w：2.7 型 アモルファスシリコン TFT カラー液晶モニター約 23 万ドット（視野率 約 97%） ・FinePix J120/J150w：3.0 型 アモルファスシリコン TFT カラー液晶モニター約 23 万ドット（視野率 約 97%）
動画	640 × 480 ピクセル /320 × 240 ピクセル　30 フレーム / 秒、音声付き（モノラル）
撮影時機能	顔キレイナビ（顔検出機能）、赤目補正機能、フレーミングガイド（ベストフレーミング）、コマ NO. メモリー
再生時機能	顔キレイナビ（顔検出機能）、赤目補正機能、トリミング、スライドショー、マイクロサムネイル（FinePix J120/J150w のみ）、マルチ再生、日付再生、画像回転
その他の機能	PictBridge 対応、Exif Print 対応、PRINT Image Matching II 対応、言語設定（日本語、英語）、世界時計（時差設定）

入出力端子	
ビデオ出力	NTSC/PAL 方式（モノラル音声付き）
デジタル入出力	USB2.0 High-Speed、MTP/PTP 接続

電源部、その他	
電源	充電式バッテリー NP-45（付属）
バッテリー作動可能枚数の目安（フル充電時）	**電池の種類**　NP-45　**撮影枚数**　約 150 枚 CIPA（カメラ映像機器工業会：Camera & Imaging Products Association）規格によるバッテリー寿命測定方法（抜粋）：バッテリーは付属のものを使用。記録メディアは SD メモリーカードを使用。液晶モニター ON、温度（23℃）、30 秒ごとに 1 回撮影。撮影ごとに光学ズームを広角側と望遠側で交互に繰り返して端点まで移動し、2 回に 1 回フラッシュをフル発光、10 回に 1 回電源 OFF/ON して撮影。 **注意**：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数を保証するものではありません。低温時ではバッテリー作動可能枚数が少なくなります。
本体外形寸法	92.0mm × 57.9mm × 22.6mm（幅×高さ×奥行き）＊突起部含まず
本体質量	• **FinePix J100/J110w**：約 141g（付属バッテリー、メモリーカード含まず） • **FinePix J120/J150w**：約 146g（付属バッテリー、メモリーカード含まず）
撮影時質量	• **FinePix J100/J110w**：約 158g（付属バッテリー、メモリーカード含む） • **FinePix J120/J150w**：約 163g（付属バッテリー、メモリーカード含む）
動作環境	**温度**　0℃～＋40℃ **湿度**　80％以下（結露しないこと）

バッテリー NP-45	
公称電圧	3.7V
公称容量	740mAh
使用温度	0℃～＋40℃
本体外形寸法	31mm × 39.4mm × 5.7mm （幅×高さ×厚み）
質量	約 15g

バッテリーチャージャー BC-45A	
定格入力	AC 100V ～ 240V　50/60Hz
入力容量	7.0VA（100V） 10.8VA（240V）
定格出力	DC4.2V　550mA
適合電池	FUJIFILM 充電式バッテリー NP-45
充電時間	約 100 分
外形寸法	101.7mm × 56mm × 20mm（長さ×幅×厚さ）
質量	約 66g（本体のみ）
使用周囲温度	0℃～＋40℃

バッテリーチャージャー BC-45A についてのご注意

- バッテリーやバッテリーチャージャーは、内部で電力を消費するため温かくなりますが異常ではありません。できるだけ通気の良いところで使用してください。
- ご使用中、内部で発信音がする場合がありますが、故障ではありません。
- バッテリーチャージャー BC-45A は、バッテリー NP-45 専用です。
- 充電中のバッテリーチャージャーにラジオを近づけると、放送に雑音が入ることがあります。その場合は、バッテリーチャージャーをラジオから離してご使用ください。
- 次のような場所には、置かないでください。
  暖房器具の近くや直射日光の当たるところなど、温度の高いところ / 湿気の多いところ / ほこりの多いところ / 振動の激しいところ
- 海外旅行でも使用可能な、入力 AC100V ～ 240V、50/60Hz 仕様です。ただし、電源コンセントの形状は、各国、各地で異なりますので国に合ったコンセント変換プラグが必要です。詳しくは、旅行代理店にご相談ください。

注意

- 仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01% 以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。また、記録される画像には影響ありません。
- 電波干渉が強い場所（磁場、静電気、回線ノイズなど）では、カメラが誤動作することがあります。
- レンズの特性により撮影した画像の端がゆがむ場合がありますが、故障ではありません。

索引

[た～な]

[は]

[ま～や]

[ら～わ]

ソフトウェアのお問い合わせについて

1 お問い合わせの前にお確かめください。

ソフトウェアのインストール、FinePixViewer の使い方は使用説明書（本書）や FinePixViewer のヘルプから調べることができます。

2 富士フイルム製品 Q&A・お問い合わせ

(http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/index.html)、またはインターネットメニューの「サポート登録変更」から、ホームページで調べてください。

＊「サポート」をご利用いただくには画像ネットサービスへのユーザー登録が必要です。

3 裏表紙のお問い合わせ先に FAX、電話でお問い合わせください。

より早く正確な回答のために、111 ページのご質問用紙にご記入の上、
下記の情報もご用意ください。

·カメラの機種名
· FinePixViewer のバージョンまたは CD-ROM のタイトル
·エラーメッセージ
·どのようなときにトラブルが発生しますか？ / トラブルが発生する直前の操作は？ / カメラの状態は？ / トラブルが発生する頻度は？

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。
·あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■ ご質問用紙

FAXでのお問い合わせは、この「ご質問用紙」をA4サイズにコピーして、質問事項および使用環境を詳しくお書きください。ボールペン、サインペンで楷書にてお書きください。

フリガナ			
お 名 前			
ご 住 所	〒　　　　　−		
電 話 番 号	（　　　）　　　−	ファクス番号	（　　　）　　　−
E-mail			
ご記入日	年　　月　　日		
カメラの機種名			
FinePixViewerのバージョン またはCD-ROMのタイトル			
コンピュータ機種名		OSバージョン	
メ モ リ 容 量	MB	ハードディスク容量	GB
接 続 機 器 名		そ の 他	
エラーメッセージなど			
ご質問内容			

資料

アフターサービスについて

保証書

・保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。

・保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■ 調子が悪い時はまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。電話番号が裏表紙に記載されています。

■ 故障と思われるときは

富士フイルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フイルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が裏表紙にあります。依頼方法は、次のページの中からお客様のご都合によりお選びください。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

・本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。

・修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。

・落下･衝撃 、砂･泥かぶり 、冠水･浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。

・内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。 大切なファイルは別のメディア（ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など）にコピーして、バックアップしてください。修理に出すときには、内蔵メモリー内のデータは消してください。 内部の基板交換等した場合、内蔵メモリー内のデータは保証できません。カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

■ 修理部品について

・本製品の補修用部品は、製造打ち切り後8年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。

・本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合がありま す。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所･氏名･電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難･漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問合せ先、富士フイルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

修理の依頼方法は、下記の中からお客様のご都合に合わせてお選びください。

● FinePix クイックリペアサービス

「お預かり」・「梱包」・「修理」・「お届け」をワンパックにした、お預かりからお届けまでが最短 3 日の宅配修理サービスです。

- 申し込みは、以下から選択してください。
  【クイックリペアサービス申し込み先】
  インターネット ：
  http://repairlt.fujifilm.co.jp/quick/index.php
  ナビダイヤル : 0570-00-9555
  ※受付時間 : 月～土 9:00 ～ 17:00（日・祝日・年末年始を除く）
  ※ PHS・IP 電話・NTT 以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、「0228-35-3586」に電話してください。
  ファクス : 0570-06-0070
  申し込みに際し、112 ページの「個人情報の取扱について」をご確認ください。
- 当社指定の宅配業者が、ご指定の日時にお預かりに伺い、修理完了品をご自宅までお届けします。
- 保証期間内外を問わず、全国一律のサービス料金が必要です。また有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

● FinePix 特急 30 分修理（持込修理）

サービスステーションに直接お越しいただいたお客様を対象とした、30 分を目安にその場で修理を行う持込修理サービスです。

- 下記サービスステーションにて FinePix 特急 30 分修理を実施しております。

東京 大阪 名古屋 札幌 福岡	当社ホームページ http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/servicestation/index.html をご覧ください。 ※仙台サービスステーションでは FinePix 特急 30 分修理は実施しておりません。

- その場で修理を行うことができます。後日引き取りもできます。
- 特急修理のために特別なサービス料金は不要です。
  ただし有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- 修理料金は、お引取り時にサービスステーション窓口でお支払いください。

●富士フイルム修理サービスセンターへの送付修理

- ご依頼の際「修理依頼票」を記載の上修理依頼品に添付してください。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

●お買上げ店への持込修理

- 修理料金及びその支払方法については、お持ちいただいたお店にご確認ください。

■ 修理に関する情報は

・修理サービス Q&A

http://repairlt.fujifilm.co.jp/faq/after/index.html

修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。

・修理納期検索サービス

http://repairlt.fujifilm.co.jp/repair/certificate.jsp

東京もしくは大阪のサービスステーションおよび富士フイルム修理サービスセンターへ修理依頼品を送付、あるいは持ち込みされた場合、修理完了予定日を検索することができます。

・FinePix 修理概算見積サービス

http://repairlt.fujifilm.co.jp/estimate/index.php

当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を算出できます。

FinePix J100/J110w/J120/J150w 修理依頼票

※予め112ページの「個人情報の取扱について」をご確認ください。
※本紙は拡大コピーしてお使いください。※下表の□は、該当する項目にチェック（✔）を入れてください。

<table>
<tr><td>フリガナ</td><td></td><td rowspan="2">電話番号</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">お 名 前</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>FAX番号</td><td></td></tr>
<tr><td>ご 住 所</td><td colspan="3">〒　　　　－</td></tr>
<tr><td>ボディ番号（機番）
保証書あるいは本体底面に記載してある8桁の番号です。
修理お問合せ時にご連絡ください。</td><td colspan="3">NO.</td></tr>
<tr><td>修理品への添付</td><td colspan="3">□保証書　・　□メモリーカード　・　□バッテリー
□（　　　）　□（　　　）
□（　　　）　□（　　　）</td></tr>
<tr><td>見 積</td><td colspan="3">□要（修理金額　　　　円以上見積り）　・　□不要</td></tr>
<tr><td>見積連絡方法</td><td colspan="3">□電話　・　□FAX</td></tr>
<tr><td>故障症状（故障時の様子）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>ご購入時期</td><td colspan="3">20　　年　　月</td></tr>
<tr><td>修理履歴</td><td colspan="3">□初回　・　□再依頼（□同一症状　・　□別症状）</td></tr>
<tr><td>発生状況　発生頻度</td><td colspan="3">□開始時のみ　・　□いつも　・　□時々（　　日に　　回）</td></tr>
<tr><td>発生状況　動作モード</td><td colspan="3">□再生時　・　□撮影時　・　□ショックを与えると</td></tr>
<tr><td>発生状況　他機との接続</td><td colspan="3">□無　・　□有（接続機　　　　）</td></tr>
<tr><td>発生状況　使用電源</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

FUJIFILM 富士フイルム株式会社

●本製品に関するお問い合わせは… ※予め「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルムFinePixサポートセンター

ナビダイヤル **0570-00-1060** / 携帯電話・PHS・IP電話・NTT以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は **0228-35-1088**

市内通話料金でご利用いただけます
⇒呼び出し音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。

月曜日～金曜日 午前9:00～午後5:40 土曜日 午前10:00～午後5:00 日・祝日・年末年始を除く

FAX **0570-06-7555** 受付時間:24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

●本製品の関連情報は、下記のホームページをご覧ください。

http://fujifilm.jp/ ※弊社ホームページの自己解決に役立つ「Q＆A検索」もご利用ください。

●修理の受付は… ※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。また、予め「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■修理のご相談受付窓口 富士フイルム修理サービスセンター

ナビダイヤル **0570-00-0081** / PHS・IP電話・NTT以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は **0228-35-3586**

⇒呼び出し音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。

月曜日～金曜日 午前9:00～午後5:40 土曜日 午前10:00～午後5:00 日・祝日・年末年始を除く

FAX **0570-06-0070** 受付時間:24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

■修理品ご送付受付窓口 富士フイルム修理サービスセンター
〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1 / TEL：0228-35-3586

▶ お急ぎの場合は、全国どこからでも
【FinePix クイックリペアサービス】：お預かりからお届け迄が最短3日の宅配修理サービス
インターネット：http://repairlt.fujifilm.co.jp/quick/index.php / ナビダイヤル：0570-00-9555

■修理品お持込窓口 全国６箇所のサービスステーション（東京・大阪・札幌・仙台・名古屋・福岡）でも修理をお受けします。
サービスステーションにつきましては、当社ホームページhttp://fujifilm.jp/ をご確認ください。

▶ お近くにサービスステーションがあれば
【FinePix 特急修理30分】： 30分を目安にその場で修理を行う持込修理サービス

●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…
お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日 午前9：30～午後5：00） TEL 03-5786-1712